

消 防 年 報

平成 2 1 年 版



い ち き 串 木 野 市 消 防 本 部

(平成 2 2 年 刊 行)

は じ め に

この年報は、いちき串木野市消防本部の現況及び平成21年度における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介し、理解と協力を得るため編集したものであります。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に関する事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。

平成22年 6月

いちき串木野市消防本部

目 次

I 総 括

1	いちき串木野市のあらまし	1
2	市域の変遷	2
3	消防の沿革	2
4	歴代消防長	
(1)	旧串木野市消防本部	9
(2)	いちき串木野市消防本部	9
5	歴代消防団長	
(1)	旧串木野市	10
(2)	旧市来町	10
(3)	いちき串木野市	10

II 総 務

1	消防の組織	11
2	消防本部・消防署・分遣所の事務分掌	12
3	いちき串木野市消防現勢分布図	14
4	消防庁舎・分遣所・詰所（車庫含む。）の状況	
(1)	消防本部（署）・分遣所	15
(2)	消防団	15
5	平成21年度の主な行事	16
6	消防予算	
(1)	平成21・22年度消防予算	17
(2)	市総予算と消防予算	18
(3)	消防予算と人口・世帯数との比較	18
7	人事・教養	
(1)	消防職員の配置状況	19
(2)	消防職員の年齢	19
(3)	消防職員の勤続年数	20
(4)	消防職員の階級別及び過去3年間の教養状況	20
8	消防団	
(1)	消防分団所轄区域、定員及び幹部名	21
(2)	消防団員の勤続年数	22
(3)	消防団員の年齢	22

(4) 消防団員出場状況表	2 3
(5) 消防団員の報酬等	2 3
9 いちき串木野市消防連合後援会	2 4
1 0 表 彰	2 4

Ⅲ 予防・危険物

1 防火対象物の状況	2 5
2 防火対象物階層別状況（4階以上・棟数）	2 6
3 建築同意事務等処理状況	
(1) 建築同意状況	2 7
(2) 専用住宅建築確認通知状況	2 7
4 消防用設備等設置検査実施状況	2 7
5 消防法関係届出状況	2 8
6 火災予防条例関係届出状況	2 9
7 防火啓発状況	3 0
8 危険物施設の状況	3 0
9 危険物関係許可・検査処理状況	3 1
1 0 危険物施設の立入検査状況	3 1
1 1 液化石油ガス等の保安指導状況	3 2
1 2 串木野国家石油備蓄基地の概要及び現況	3 3
1 3 消防協力団体の結成状況	
(1) いちき串木野市幼少年婦人防火委員会	3 6
(2) 幼年消防クラブ	3 6
(3) 婦人防火クラブ	3 6
(4) 防火管理協会	3 7
(5) 危険物安全協会	3 7

Ⅳ 火災・救急・救助

1 平成21年中の火災発生状況	3 8
2 火災統計	
(1) 平成21年中の火災状況	3 9
(2) 過去5年間の年別火災概要	4 0
(3) 過去5年間の原因別火災発生件数	4 0
(4) 過去5年間の月別火災発生件数	4 1
(5) 過去5年間の曜日別火災発生件数	4 1

(6) 過去5年間の時刻別火災発生件数	4 2
(7) 火災発生時の気象状況	4 3
3 いちき串木野市における大火記録	4 4
4 救急業務統計	
(1) 救急業務の沿革	4 5
(2) 救急業務取扱状況	4 6
(3) 傷病程度別搬送状況	4 6
(4) 診療科目別搬送状況	4 7
(5) 搬送別状況	4 7
(6) 覚知別出場状況	4 7
(7) 居住地別搬送状況	4 7
(8) 救急救命処置実施状況	4 7
(9) 月別救急出場状況及び搬送人員の状況	4 8
(10) 曜日別救急出場状況	4 9
(11) 現場到着所要時間別出場件数	4 9
(12) 収容所要時間別搬送人員	4 9
(13) 時間別出場状況（急病件数及び総件数）	5 0
(14) 市別搬送状況（搬送先）	5 0
(15) 救急出場件数の推移	5 1
(16) 過去5年間の救急出場状況	5 1
(17) 年齢別搬送人員状況	5 2
(18) 各比率	5 2
5 救助業務統計	
(1) 救助出動状況	5 3
(2) 過去5年間の救助出動状況	5 3
6 応援協定等の締結状況	5 4

V 機械・水利

1 基準消防力と現有消防力との比較	
(1) 消防本部（署）	5 5
(2) 消防団	5 5
(3) 消防職・団員と市民との割合	5 5
2 消防機械器具及び水利状況	
(1) 消防署の消防車両状況	5 6

(2) 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況	
ア 串木野地域	5 7
イ 市来地域	5 8
(3) 署・各分団ポンプ及びホース保有状況	5 9
(4) 消防資機材の保有状況	6 0
(5) 消火薬剤等の保有状況	6 1
(6) 原子力防災資機材の保有状況	6 1
(7) 消防水利の状況（消防水利の基準に適合しないものも含む。）	
ア 串木野地域	6 2
イ 市来地域	6 3
(8) 消防無線の状況	
ア 消防本部	6 4
イ 消防団	6 5

VI 気 象

1 気象観測の状況	6 6
2 風向の状況	6 7
3 各地の降水量（防災テレメーターによる。）	6 7

I 総括

面積	112.02km ²
人口	31,158人
世帯数	13,457世帯

(平成22年4月1日現在)

1 いちき串木野市のあらし

いちき串木野市は、平成 17 年 10 月 11 日、旧串木野市と旧日置郡市来町が合併して誕生した新しい市である。

本市は、薩摩半島の北西部にあり西は東シナ海に面し、日本三大砂丘のひとつである吹上浜の北端に位置している。北東側には、標高 516 メートルの徐福伝説のある霊峰冠岳及び 519 メートルの弁財天を最高に数々の分峰が連なり、北は薩摩川内市と接し、南は大里平野と小丘をもって日置市に接している。また、東シナ海に面した良港に恵まれ、近海・遠洋漁業が盛んに行われ「マグロのまち串木野」として知名度が高い。

本市には、今から 4000 年～3000 年前（縄文時代後期中ごろ）から既に人が住みつき、土器を使用し海と関わり、陸地で植物を栽培する生活をしてきたことが実証されている。その証として、市来川上貝塚の発見研究により、市来式土器と呼ばれる様式の土器などが多数発掘され、その時代から海と陸の関わりある生活を営んでいたことがうかがわれ、時代とともに集落などの形を変え現在に至っている。

市来湊町では、今から約 400 年前、島津義弘の朝鮮役での活躍を祝って踊られた国指定の重要無形民族文化財の「七夕踊り」や約 200 年前、商港、宿場町として栄えたころ、京都の祇園祭に似せて行われたという「祇園祭」など、その昔からの芸能を現在も引き継いできており、海を介して経済、文化などに影響がもたらされている。

江戸時代末期（1865 年）には、薩摩藩の命により我が国初の海外留学生一行 19 名が、ヨーロッパへ向けて密かに出航し、初代文部大臣森有礼らなど近代日本の幕開けの原動力となった若き薩摩の志士一行が出航した黎明の地が羽島である。

平成 6 年に完成した串木野国家石油備蓄基地は、西薩町から荒川地内にかけて地下の岩盤内にトンネル 10 本を掘削し、我が国で消費される 3 日分に相当する 169 万キロリットルの原油を国の政策に基づき、常圧貯蔵横穴水封固定水床式で備蓄している。

このように本市は、昔から海との関わりが深く、様々な恵みをもたらす海を背景に焼酎・つけあげ・柑橘類などの地元産品、近年ではまぐろラーメン・ポンカレーなど食に関する知名度も向上し、様々な特色のある資源を有しており、現在、港湾施設や臨海部の整備を進めるとともに、企業誘致を図り、串木野新港を主に中国・東南アジア等との国際交易圏づくりをめざしている。

また、南九州西回り自動車道の整備や内陸部の開発などにより、本市を取り巻く交通・物流体系が一段と整備され、活発化している。

古い歴史と伝統のあるまち、白砂青松の吹上浜、山と緑の美しい環境の新しいいちき串木野市は、新市の基本理念として、「ひとが輝く 地域が輝く～地域ブランドによる自立したすこやかな都市の創造～」を設定し、「ひとが輝き 文化の薫る 世界に拓かれたまち」を将来の都市像に掲げ、新しいいちき串木野市の創造に向けて努力しているところである。

2 市域の変遷

年 月 日	事 項	面 積 (km ²)	人 口			世帯数
			計	男	女	
明治 22. 4. 1	冠岳村、上名村、下名村、荒川村、羽島村の 5 ケ村が合併して串木野村となる。	79.60	—	—	—	
明治 22. 4. 1	湊村、大里村、川上村が合併して、市来村となる。					
昭和 5. 4. 1	町制施行 (市来町)					
昭和 10. 4. 1	町制施行 (串木野町)	79.60	24,637	11,727	12,910	5,501
昭和 25. 10. 1	市制施行 (串木野市)	79.60	33,884	16,483	17,401	7,182
平成 17. 10. 11	串木野市、市来町の 1 市 1 町で合併して、いちき串木野市となる。	112.02	33,087	15,516	17,571	13,601

3 消防の沿革

明治 36 年 12 月	○串木野村消防組創立
大正 5 年 9 月	○腕用ポンプ購入
大正 5 年	○市来村湊町に公設消防組を組織 (他の地域は、私設消防組を組織)
大正 9 年	○青年団により私設の島内消防組を組織 (鳶口10丁、水汲み用木製ツルベ10個、梯子1つを配備)
昭和 6 年 10 月	○行幸記念事業で手引ガソリンポンプ購入
昭和 9 年 5 月	○消防ポンプ自動車 (フォード) 購入
6 月	○優良消防組として県知事表彰を受ける。
昭和 10 年 4 月	○町制施行により串木野町消防組に改称
昭和 14 年 4 月	○内務省令により串木野町警防団 (7 分団) に改称 ○市来町警防団を結成 (4 分団)
昭和 20 年 6 月	○中央分団地区から本浦地区を分離し、水上分団を設立
昭和 22 年 8 月	○警防団の組織を串木野町消防団 (8 分団)、市来町警防団 (4 分団) として改編
昭和 23 年 5 月	○串木野町消防団常備部発足 (部員 12 名、消防車 [フォード] 1 台)
9 月	○電話器が常備詰所に設置される。
昭和 25 年 8 月	○優良消防団として消防庁長官表彰を受ける。
10 月	○市制施行により串木野市消防団と改称
昭和 26 年 4 月	○常備部団員定員 14 名となる。(2 名増員)
昭和 29 年 1 月	○常備部詰所を浜田通りロータリー南西角に移転 (現在の旭町 1 番地)
3 月	○常備部に消防ポンプ自動車 (日産) を購入
4 月	○串木野市消防本部・消防署設置 (職員数 15 名) 初代消防長 大園純夫就任
10 月	○消防職員 1 名退職 1 名採用 (実員 15 名)
昭和 30 年 6 月	○中央分団に消防ポンプ自動車 (トヨタ) を購入し、運搬車を照島分団に配置替
8 月	○水上分団及び照島分団に小型動力ポンプ (ラビット) を購入
9 月	○消防団定数条例改正 237 名となる。 ○水上分団を本浦分団に改称
昭和 31 年 5 月	○消防職員 1 名退職 1 名採用 (実員 15 名)
昭和 31 年 10 月～ 昭和 32 年 10 月	○生福、旭、羽島、荒川、冠岳、中央の各分団に小型動力ポンプ、本浦分団に運搬車を購入

昭和33年	4月	○消防団定数条例改正 227名となる。
	6月	○消防職員1名退職1名採用(実員15名)
	11月	○第1回串木野市消防操法技能競技大会を実施
昭和34年	6月	○消防職員1名退職1名採用(実員15名)
昭和34年	7月～	○照島分団に運搬車、本浦・照島分団に小型動力ポンプ、消防署に水槽付ポンプ
昭和35年	10月	自動車を購入
昭和36年	4月	○消防職員1名採用(実員16名)
	5月	○消防職員1名退職1名採用(実員16名)
	9月	○串木野警察署と「災害救助に関する協定」を締結
昭和37年	4月	○中央分団に運搬車、照島分団別府班に小型動力ポンプを購入
昭和38年	11月	○本浦分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入し、運搬車を旭分団に配置替
昭和39年	2月	○本浦分団及び照島分団別府班のポンプ庫を新築
	5月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入
昭和40年	4月	○消防職員1名採用(実員17名)
	7月	○消防団定数条例改正 204名となる。 ○串木野局の電話自動化により119番の専用線を開設
	9月	○消防職員1名市役所へ転出(実員16名)
昭和41年	2月	○日本消防協会より、消防団表彰旗を授与される。
	4月	○消防職員1名採用(実員17名)
	7月	○第2代消防長 大久保重雄就任 ○消防職員1名市役所へ転出1名転入(実員17名)
	11月	○消防署に消防ポンプ自動車(トヨタ)を購入し、昭和29年3月購入の消防ポンプ自動車(日産)を羽島分団に配置替
昭和42年	1月	○羽島分団の車庫を羽島5, 237番地に新築
	7月	○消防職員1名市役所から転入(実員18名) ○市来町・東市来町との消防相互応援協定を締結
	8月	○中央分団に小型動力ポンプを購入 ○消防団定数条例改正 210名となる。
	9月	○消防職員1名採用(実員19名)
昭和43年	2月	○消防署に救急自動車(日産セドリック)を購入、任意で救急業務を開始
	3月	○消防職員1名採用(実員20名)
	5月	○川内市と消防相互応援協定を締結
	12月	○生福分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入
昭和44年	3月	○消防無線局を開設
	4月	○消防職員1名市役所から転入(実員21名)
	8月	○消防職員1名市役所へ転出(実員20名)
	11月	○照島分団に消防ポンプ自動車(トヨタ)を購入(運搬車を廃車)
	12月	○市来町・東市来町との救急業務応援協定を締結
昭和45年	1月	○消防職員1名採用(実員21名)
	4月・5月	○川内市と救急業務相互応援協定、里村・上甕村と救急業務応援協定を締結
	6月	○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」を締結
昭和46年	3月	○旭分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(運搬車を廃車)
	6月	○消防法施行令の一部改正により本市の救急業務実施が義務化
	7月・8月	○樋脇町と消防相互応援協定並びに救急業務応援協定、下甕村と救急業務応援協定を締結
	9月	○消防職員1名採用(実員22名)
	10月	○第3代消防長 入江 森就任

昭和46年10月	○消防職員1名市役所へ転出（実員21名）
11月	○消防職員1名採用（実員22名）
	○中央分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（更新）
昭和47年2月	○市合同庁舎が昭和通133番地1に新築され、消防本部・署も移転
	○中央分団の車庫詰所を旭町1番地2に新築
3月	○優良消防機関（署・団）として消防庁長官表彰を受ける。
8月	○荒川分団の車庫詰所を荒川2, 347番地に新築
12月	○冠岳分団の車庫詰所を冠岳12, 984番地2に新築
	○冠岳分団に消防ポンプ自動車（日産）、羽島分団に小型動力ポンプを購入
昭和48年2月	○鹿島村と救急業務応援協定を締結
3月	○生命保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
7月	○日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配置
	○消防職員1名採用（実員23名）
9月	○消防職員1名採用（実員24名）
11月	○荒川分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入
	○旭分団の車庫詰所を下名14, 105番地に新築
昭和49年4月	○消防職員1名退職1名採用（実員24名）
11月	○羽島地区の電話自動化により119番専用線を開設
12月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
昭和50年9月	○照島分団の車庫詰所を下名7, 574番地1に新築
10月	○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
12月	○中央分団に運搬車（トヨタ）を購入（更新）
昭和51年4月	○羽島分団の車庫に隣接して詰所を新築
6月	○消防団本部に赤バイ（ヤマハ250cc）を購入
7月	○本浦分団及び生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
10月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
	○市来町消防団役場分団結成
	日本消防協会から可搬動力ポンプ積載車の寄贈及び松下町長の命を受け、17名で発足する。
12月	○職員定数条例改正 26名となる。
昭和52年4月	○消防職員1名退職3名採用（実員26名）
9月	○日本消防協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	○旭、照島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
昭和53年3月	○職員定数条例改正 28名となる。
4月	○消防職員2名採用（実員28名）
5月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
7月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入（更新）
10月	○日本防火協会から広報車の寄贈を受ける。
昭和54年3月	○羽島分団土川班のポンプ庫詰所を羽島9, 675番地に新築
4月	○消防職員2名採用（実員30名）
5月	○消防職員1名退職（実員29名）
6月	○照島分団及び照島分団別府班に小型動力ポンプを購入（更新）
8月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
9月	○荒川分団の小型動力ポンプ（53年5月購入分）を旭分団に配置替
11月	○消防署に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
	○本浦分団の車庫詰所を西浜町1番地に新築
12月	○消防職員1名退職（実員28名）

昭和55年	1月	○第4代消防長 軍神 計就任
	6月	○中央分団に小型動力ポンプを購入(更新)
昭和55年	7月	○冠岳分団に小型動力ポンプを購入(更新)
	12月	○生福分団の車庫詰所を上名9, 129番地に新築
昭和56年	2月	○消防職員1名退職(実員27名)
		○日本自動車工業会から救急車の寄贈を受ける。
	4月	○消防職員2名採用(実員29名)
	5月	○川内地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結(川内市との従前の協定を破棄)
	8月	○第1回串木野市消防団規律訓練大会を実施
昭和57年	3月	○消防職員1名退職(実員28名)
		○甌島4村及び樋脇町との救急業務応援協定を破棄
	10月	○日置地区消防組合と「消防・救急業務応援協定」を締結(市来町・東市来町との従前の協定を破棄)
	11月	○生福分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(更新)
昭和58年	12月	○照島分団別府班のポンプ庫詰所を下名3, 362番地2に新築
昭和59年	2月	○消防本部・署の庁舎を昭和通133番地1に新築し移転
	4月	○指宿地区消防組合と「消防無線使用時の混信に関する協定」を締結
	11月	○照島分団に消防ポンプ自動車(日野)を購入(更新)
昭和60年	3月	○第5代消防長 植屋一郎就任
		○消防職員1名市役所へ転出(実員27名)
	4月	○消防職員1名採用(実員28名)
		○串木野ライオンズクラブから指揮連絡車(日産)の寄贈を受け、消防署に配置
	10月	○中央分団に消防ポンプ自動車(日野)を購入(更新)
昭和61年	10月	○消防職員条例定数改正 31名となる。
		○羽島分団土川班に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を購入
	12月	○市来町・樋脇町と「消防相互応援協定」を締結
		○川南分団に消防ポンプ自動車を購入(更新)
昭和62年	3月	○消防職員1名退職(実員27名)
	4月	○消防職員4名採用(実員31名)
	10月	○消防署に消防ポンプ自動車(三菱)を購入(更新)
	12月	○川上分団に消防ポンプ自動車を購入(更新)
昭和63年	12月	○旭分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(更新)
平成元年	2月	○消防署に救急車(トヨタ)を購入(更新)
	3月	○消防職員1名退職(実員30名)
	4月	○消防職員1名採用(実員31名)
	10月	○消防職員条例定数改正 34名となる。
		○冠岳分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(更新)
平成2年	1月	○コーアガス鹿児島(株)から救急車(トヨタ)の寄贈を受ける。
	3月	○昭和56年に日本自動車工業会から寄贈された救急車を運搬車に改造し、照島分団別府班に配置
	4月	○消防職員3名採用(実員34名)
	10月	○消防職員条例定数改正 38名となる。
		○消防署にはしご付消防自動車(24m級)を購入
		○荒川分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(更新)
平成3年	3月	○串木野市消防団条例の全部改正
平成3年	4月	○消防職員2名採用(実員36名)

平成 4 年	9月	○消防職員 1 名採用（実員 3 7 名） ○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
	1月	○鹿児島県消防相互応援協定締結
	3月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
	4月	○消防職員 1 名市役所へ異動（実員 3 6 名）
	8月	○日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車（いすゞ）の寄贈を受け、中央分団に配置 ○石油コンビナート等特別防災区域指定
平成 5 年	10月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新） ○消防庁舎の車庫、倉庫を増改築
	11月	○消防職員 1 名退職（実員 3 5 名） ○昭和 5 0 年に購入した中央分団の運搬車を消防署に配置替
	12月	○消防署に化学消防ポンプ自動車（三菱）を購入
	3月	○消防職員 1 名退職（実員 3 4 名） ○中央分団の車庫詰所を旭町 1 番地 2 に中央地区コミュニティ消防センターとして新築
	4月	○第 6 代消防長 俣木一幸就任 ○消防職員 3 名採用（実員 3 7 名）
平成 6 年	10月	○役場分団に小型動力ポンプ積載車を購入（更新）
	3月	○荒川分団の車庫詰所を荒川 2, 4 5 0 番地に新築 ○消防職員 1 名退職（実員 3 6 名）
	4月	○消防職員 1 名採用（実員 3 7 名）
	8月	○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」の一部改正
	10月	○鹿児島県消防相互応援協定の一部改正
平成 7 年	12月	○照島分団別府班に小型動力ポンプ積載車（トヨタ）を購入（更新）
	2月	○旭分団の車庫詰所を下名 1 4, 1 0 3 番地 1 5 に旭地区コミュニティ消防センターとして新築
	3月	○冠岳分団の車庫詰所を冠岳 1 2, 9 8 4 番地 2 に冠岳地区コミュニティ消防センターとして新築 ○消防職員 1 名退職（実員 3 6 名）
	4月	○消防職員 1 名市役所へ異動 ○第 7 代消防長 尾崎正躬就任 ○消防職員 2 名採用（実員 3 8 名）
	3月	○照島分団の車庫詰所を東島平町 4 1 7 番地 1 に照島地区コミュニティ消防センターとして新築
平成 8 年	4月	○団本部に指揮連絡車（トヨタ）を購入 ○消防職員 1 名市役所へ異動 ○消防職員 1 名採用（実員 3 8 名）
	8月	○日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け消防署に配置
	11月	○生福分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新） ○昭和 5 7 年に購入した生福分団の消防ポンプ自動車を消防署に運搬車として配置換え ○本浦分団、生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	1月	○消防署に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
	3月	○羽島分団の車庫詰所を羽島 5, 2 1 8 番地に羽島コミュニティ消防センターとして新築 ○消防職員 1 名退職（実員 3 7 名）
平成 9 年		

	4月	○第8代消防長 植ノ原敬一就任 ○消防職員1名採用（実員38名）
平成9年	9月	○日本地下石油備蓄(株)串木野事業所と応援協定を締結
	11月	○中央仮設株式会社から指揮広報車の寄贈を受け消防署に配置
	12月	○湊・川北分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
平成10年	1月	○羽島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	2月	○旭分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	3月	○消防職員1名退職（実員37名）
	4月	○川内地区消防組合と「携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定」を締結
	8月	○日本消防協会から軽可搬ポンプ付軽積載車の寄贈を受ける。
	12月	○照島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成11年	3月	○消防職員1名退職（実員36名）
	4月	○第9代消防長 橋之口博繁就任 ○消防職員1名採用（実員38名）
平成12年	3月	○串木野市医師会と「救急救命士に対する医師の指示に関する協定」を締結 ○本浦分団車庫詰所を西浜町1番地2に本浦地区コミュニティ消防センターとして新築（平成11年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11月	○消防署に小型動力ポンプ付積載車を購入（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○高規格救急自動車を購入し、平成13年1月1日運用開始（平成12年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○気象情報収集装置を整備（平成12年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○鹿児島県より原子力防災資機材として軽トラック（運搬車）の貸与を受け、消防署に配置
	12月	
平成13年	3月	○消防職員1名退職（実員37名） ○第10代消防長 平石耕二就任 ○消防署に救急車（トヨタ）を購入（更新）
	4月	○荒川、旭、冠岳分団に小型動力ポンプ（B3級）を購入（平成13年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	12月	
平成14年	9月	○旭分団芹ヶ野ポンプ庫撤去
	12月	○川西薩地区法定合併協議会（2市4町3村）が設置され、消防本部は消防防災分科会を担当 ○消防職員1名市役所へ異動
平成15年	4月	○第11代消防長 福菌照雄就任 ○消防職員1名採用（実員38名） ○串木野市は川西薩地区法定合併協議会を離脱 ○川南・川上分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	7月	○串木野・市来合併協議会が設置され、消防本部は消防防災分科会を担当
	10月	○生福地区コミュニティ消防センターの建設用地を購入（上名6, 660番1外2筆・面積452.33㎡）
	12月	（平成15年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成16年	4月	○串木野市消防本部の組織等に関する規則の一部改正「施設装備係」を「救急救助係」に改めるとともに、消防本部の事務分掌も一部改めた。
	10月	○湊・川北分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成17年	2月	○日置地区消防組合と「川内道路における消防相互応援協定」を締結
	3月	○国土交通省鹿児島国道事務所・県警察本部交通部高速道路交通警察隊・日置地

平成17年	3月	区消防組合と「南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定」を締結（3月13日 串木野・市来区間開通） ○生福分団の車庫詰所を上名6,660番地1に生福地区コミュニティ消防センターとして新築（平成16年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○本浦分団、照島分団、生福分団に小型動力ポンプ（B3級）を購入（平成16年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○簡易地図検索装置を整備（平成16年度緊急地域雇用創出特別基金事業及び原子力防災資機材） ○消防職員1名退職（実員37名）
	4月	○第12代消防長 野田 豊就任
	10月	○市町村合併（串木野市と市来町）により新市「いちき串木野市」誕生 ○いちき串木野市消防本部・消防署・いちき分遣所発足 ○初代消防長 野田 豊就任 ○職員8名（日置地区消防組合職員3名・旧串木野市役所職員1名・旧市来町役場職員4名）が転任、実員45名となる。いちき分遣所に12名を配置する。 ○串木野市消防団と市来町消防団は、合併により1団を形成し、「いちき串木野市消防団」となる。（団長1名、副団長4名、13分団、定数299名） ○救急3号車運用開始
平成18年	3月	○中央・照島分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成17年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○消防職員2名退職（実員43名）
	4月	○第2代消防長 内屋照男就任 ○消防職員5名採用（実員48名）
	12月	○高規格救急車（日産）を購入し、12月23日運用開始（いちき分遣所配置換え）（平成18年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成19年	3月	○消防署に消防ポンプ自動車（銀河号：日野・CD-I型）を購入（更新）（平成18年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○消防職員1名退職（実員47名）
	11月	○中央分団に小型ポンプ（B-3級）を購入（更新）（平成19年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成20年	3月	○川南分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成19年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○羽島分団に小型動力ポンプ付積載車（日産）を購入（更新）（平成19年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○消防職員1名退職（実員46名）
	4月	○消防職員2名採用（消防吏員1名、その他職員1名）（実員48名）
平成21年	1月	○川上分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成20年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4月	○消防本部・消防署の組織再編を行う。 ○救急救助係の救助業務を警防係に移管し救急係とする。
平成22年	1月	○日本消防協会から防災活動車（日産）の寄贈を受け、消防署に配置
	3月	○旭分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成21年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○消防職員2名退職（実員46名）
	4月	○第3代消防長 池田 豊 就任 ○消防職員2名採用（実員48名）※その他職員から消防吏員に転任（1名）

4 歴代消防長

(1) 旧串木野市消防本部

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	昭和29年4月	昭和41年6月	大園純夫
第2代	昭和41年7月	昭和46年9月	大久保重雄
第3代	昭和46年10月	昭和54年12月	入江森
第4代	昭和55年1月	昭和60年3月	軍神計
第5代	昭和60年3月	平成5年3月	植屋一郎
第6代	平成5年4月	平成7年3月	俣木一幸
第7代	平成7年4月	平成9年3月	尾崎正躬
第8代	平成9年4月	平成11年3月	植ノ原敬一
第9代	平成11年4月	平成13年3月	橋之口博繁
第10代	平成13年4月	平成15年3月	平石耕二
第11代	平成15年4月	平成17年3月	福藺照雄
第12代	平成17年4月	平成17年10月	野田豊

(2) いちき串木野市消防本部

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	平成17年10月	平成18年3月	野田豊
第2代	平成18年4月	平成22年3月	内屋照男
第3代	平成22年4月	現在	池田豊

5 歴代消防団長

(1) 旧串木野市

	代	就任年月	退任年月	氏名
消防組	初代	明治36年12月	明治44年5月	中尾 浅助
	第2代	明治44年6月	大正5年7月	江藤 千代蔵
	第3代	大正5年7月	大正5年11月	松元 幸助
	第4代	大正5年11月	大正11年6月	折田 金次郎
	第5代	大正11年6月	昭和5年10月	池田 良之助
	第6代	昭和5年10月	昭和14年3月	江藤 千代蔵
警防団	第7代	昭和14年4月	昭和14年9月	田尻 森吉 (町長兼務)
	第8代	昭和14年10月	昭和19年4月	江藤 千代蔵
	第9代	昭和19年4月	昭和22年7月	花牟 禮武夫
消防団	第10代	昭和22年8月	昭和26年8月	富宿 與助
	第11代	昭和26年8月	昭和30年7月	福山 盛吉
	第12代	昭和30年8月	昭和37年3月	富宿 與助
	第13代	昭和37年4月	昭和43年3月	須崎 巽
	第14代	昭和43年4月	昭和47年3月	寺師 彦好
	第15代	昭和47年4月	昭和63年3月	益満 利幸
	第16代	昭和63年4月	平成16年3月	網屋 長行
第17代	平成16年4月	平成17年10月	岡田 正治	

(2) 旧市来町 (※ 昭和14年4月に警防団を結成、初代団長は井上新吉でその他については、不明)

	代	就任年月	退任年月	氏名
消防団	初代	昭和22年8月	昭和52年4月	田崎 勇蔵
	第2代	昭和52年5月	昭和57年6月	白石 久治
	第3代	昭和57年6月	昭和59年4月	久木 菌耕平
	第4代	昭和59年5月	平成3年9月	西ノ園 厚志
	第5代	平成3年10月	平成5年3月	前田 二夫
	第6代	平成5年4月	平成9年3月	新村 明
	第7代	平成9年4月	平成17年10月	山元 幸夫

(3) いちき串木野市

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	平成17年10月	現在	岡田 正治

Ⅱ 総 務

消防組織 1本部 1署 1分遣所 1団

消防職員 48名

(平均年齢 39.8歳)

(平成22年4月1日現在)

消防団員 277名

(平均年齢 46.5歳)

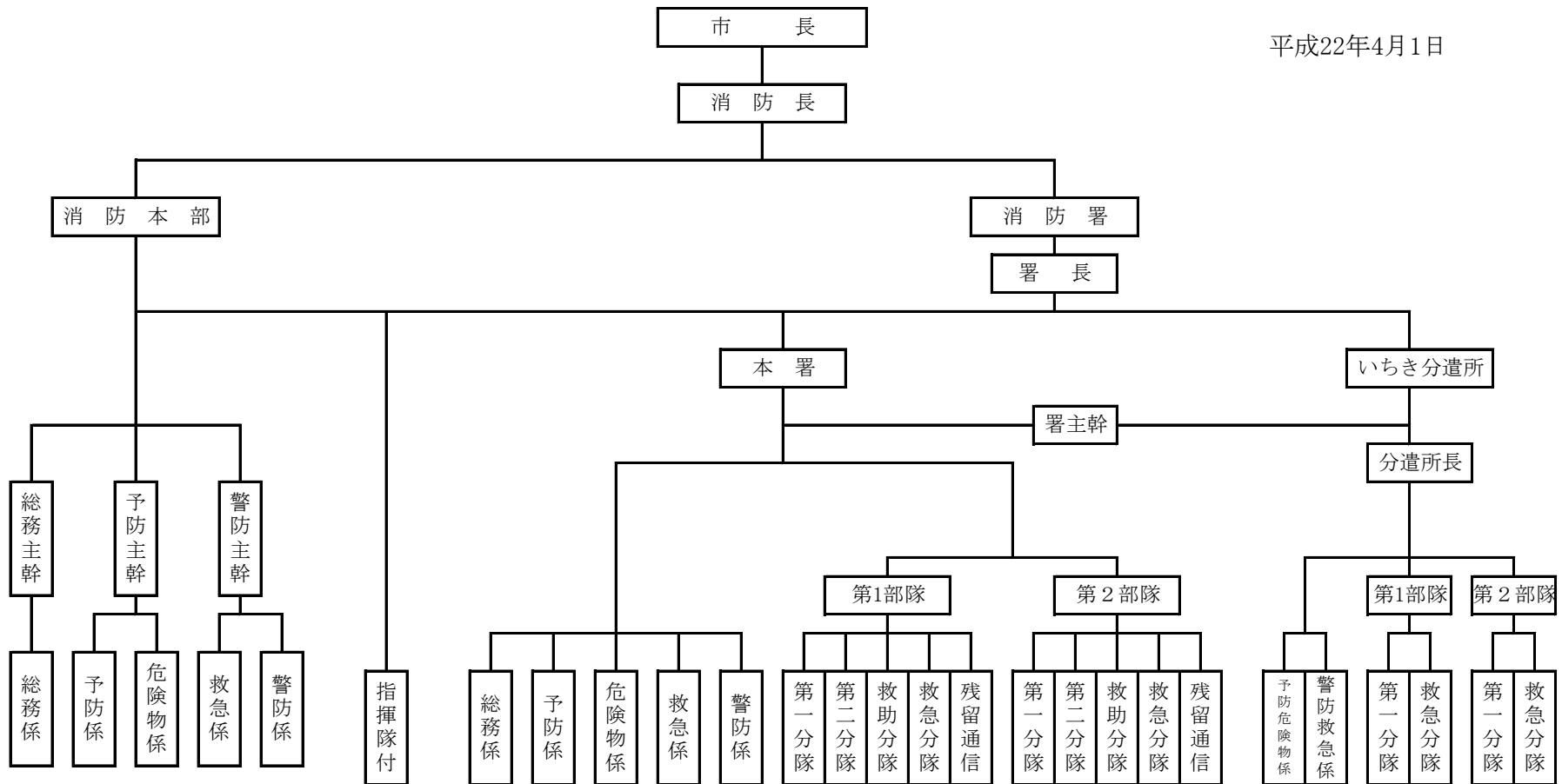
(平成22年4月1日現在)

平成22年度消防予算 508,804千円

(住民1人当り 16,330円)

いちき串木野市消防本部・消防署の組織

平成22年4月1日



2 消防本部・消防署・分遣所の事務分掌

<消防本部>

○ 総務係

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| (1) 職員の人事及び組織に関すること。 | (12) 職場及び職員の安全管理並びに衛生管理に関すること。 |
| (2) 職員の服務に関すること。 | (13) 職員の教養、研修等の総括に関すること。 |
| (3) 職員の階級、任免、分限及び懲戒に関すること。 | (14) 情報公開に関すること。 |
| (4) 公務災害補償及び消防賞じゅつ金に関すること。 | (15) 消防年報及び消防統計に関すること。 |
| (5) 予算の編成及び執行に関すること。 | (16) 消防表彰に関すること。 |
| (6) 物品の購入、保管及び処分に関すること。 | (17) 職員及び団員の福利厚生に関すること。 |
| (7) 職員及び団員の被服及び貸与品に関すること。 | (18) 会議及び儀式に関すること。 |
| (8) 公有財産に関すること。 | (19) 消防協会及び消防学校に関すること。 |
| (9) 公印の保管に関すること。 | (20) 消防職員委員会に関すること。 |
| (10) 文書の受発、編さん及び保存に関すること。 | (21) 消防手数料等の収納に関すること。 |
| (11) 条例、規則、規程等の制定及び改廃に関すること。 | (22) 消防長会に関すること。 |
| | (23) 消防連合後援会に関すること。 |
| | (24) 消防団員互助会に関すること。 |
| | (25) 消防団事務に関すること。 |
| | (26) 他の係に属さないこと。 |

○ 予防係

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) 火災予防の企画に関すること。 | (6) 防火管理者の指導及び育成に関すること。 |
| (2) 火災予防査察に関すること。 | (7) 防火管理協会及び幼少年婦人防火委員会に関すること。 |
| (3) 建築同意事務に関すること。 | (8) その他火災予防に関すること。 |
| (4) 消防用設備等に係る検査及び指導に関すること。 | |
| (5) 火災の調査、統計、報告及び証明に関すること。 | |

○ 危険物係

- | | |
|-------------------------------|---|
| (1) 危険物施設の許認可及び検査並びに指導に関すること。 | (5) 石油コンビナート等特別防災区域の指導に関すること。 |
| (2) 危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関すること。 | (6) 火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）の規定に基づく煙火の消費に関すること。 |
| (3) 危険物施設の予防査察に関すること。 | (7) 危険物安全協会に関すること。 |
| (4) 液化石油ガス販売事業の意見書に関すること。 | (8) その他危険物に関すること。 |

○ 警防係

- (1) 消防計画及び各種防災計画に関すること。
 - (2) 火災その他の災害等の警戒及び防御に関すること。
 - (3) 災害統計（火災、救急統計を除く。）及び報告に関すること。
 - (4) 消防応援協定に関すること。
 - (5) 職員及び団員の警防関係教育訓練に関すること。
 - (6) 消防施設、装備等の整備計画及び維持管理に関すること。
 - (7) 国庫補助金、石油交付金等に関すること。
 - (8) 気象、防災情報等の収集、伝達及び広報に関すること。
 - (9) 消防無線及び防災行政無線に関すること。
 - (10) 消防用燃料の受払いに関すること。
 - (11) 救助及び潜水業務に関すること。
 - (12) その他警防に関すること。
-

○ 救急係

- (1) 救急業務に関すること。
 - (2) 救急の統計、報告及び証明に関すること。
 - (3) 職員の救急教育訓練に関すること。
 - (4) 救急資機材の維持管理に関すること。
 - (5) 応急手当の普及啓発に関すること。
 - (6) 医師会、医療機関等との連絡調整に関すること。
 - (7) その他救急に関すること。
-

<消防署>

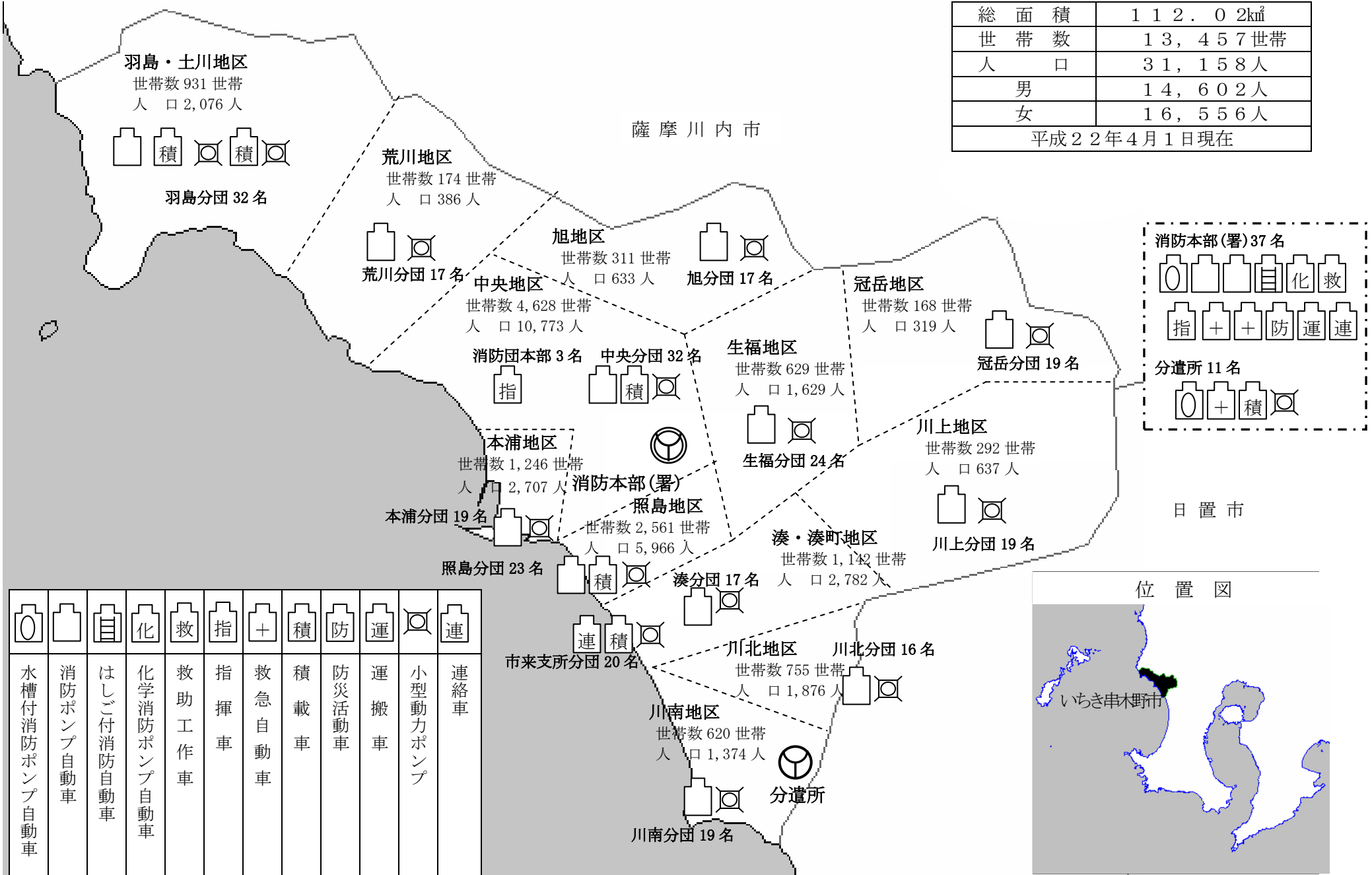
- (1) 消防通信及び受付事務に関すること。
 - (2) 火災、救急、救助、風水害等の災害活動に関すること。
 - (3) 火災その他の災害の警戒に関すること。
 - (4) 署内の会議に関すること。
 - (5) 署長会に関すること。
 - (6) 防火広報、予防及び警防査察の実施に関すること。
 - (7) 署員及び団員の訓練に関すること。
 - (8) 消防水利及び地理調査に関すること。
 - (9) 防火対象物の訓練指導に関すること。
 - (10) 防火協力団体等の指導育成に関すること。
 - (11) 気象、防災情報及び火災警報等に関すること。
 - (12) 応急手当の普及に関すること。
 - (13) 空地及び空家の管理指導に関すること。
 - (14) 住宅等の火災予防に関すること。
 - (15) 消防資機材の出納及び保管に関すること。
 - (16) その他消防業務の実施に関すること。
-

<分遣所>

- (1) 受付事務に関すること。
- (2) 火災、救急、救助、風水害等の災害活動に関すること。
- (3) 火災その他の災害の警戒に関すること。
- (4) 防火広報、予防及び警防査察の実施に関すること。
- (5) 消防水利及び地理調査に関すること。
- (6) 防火対象物の訓練指導に関すること。
- (7) 防火協力団体等の指導育成に関すること。
- (8) 応急手当の普及に関すること。
- (9) 空地及び空家の管理指導に関すること。
- (10) 住宅等の火災予防に関すること。
- (11) その他消防業務の実施に関すること。

3 いちき串木野市消防現勢分布図

総面積	112.02km ²
世帯数	13,457世帯
人口	31,158人
男	14,602人
女	16,556人
平成22年4月1日現在	



4 消防庁舎・分遣所・詰所（車庫含む。）の状況

(1) 消防本部（署）・分遣所

所管	所在地	構造	敷地面積㎡	建築面積等㎡	建築年月
消防本部 消防署	昭和通 133番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	1,603.54	庁舎建築面積 618.80 庁舎延面積 1,020.76 訓練塔(5階建)延 80.0	着工 S58.7.27 竣工 S59.3.20 増改築 H4.10.22
いちき 分遣所	大里 11番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	3,160.00	庁舎建築面積 301.62 訓練塔 25.00	完成 S57.9.28 増改築完成 H11.3.3 完成 H14.11.20

(2) 消防団

所管	所在地	構造	敷地面積㎡	建築面積等㎡	建築年月
中央分団	旭町 1番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	227.02	建築面積 69.08 延面積 118.28	H5.3
本浦分団	西浜町 1番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	165.29	建築面積 52.79 延面積 86.00	H12.3
照島分団	東島平町 417番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	167.65	建築面積 64.71 延面積 120.08	H8.3
	(別府班) 下名 3,362番地2	鉄筋コンクリート造 平屋建	100.00	建築面積 40.00 床面積 40.00	S58.12
羽島分団	羽島 5,218番地	鉄筋コンクリート造 2階建	羽島コミュニ ティセン ター敷地内	建築面積 89.25 延面積 120.74	H9.3
	(土川班) 羽島 9,675番地	鉄筋コンクリート造 平屋建		建築面積 40.80 床面積 40.80	S54.3
荒川分団	荒川 2,450番地	鉄筋コンクリート造 平屋建	小学校敷地内	建築面積 72.00 床面積 72.00	H6.3
旭分団	下名 14,103番地15	鉄骨造平屋建	旭コミュニ ティセンタ ー敷地内	建築面積 72.00 床面積 72.00	H7.2
生福分団	上名 6,660番1	鉄筋コンクリート造 2階建	452.33	建築面積 72.96 延面積 130.08	H17.3
冠岳分団	冠岳 12,984番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	231.38	建築面積 37.50 延面積 75.00	H7.3
資材倉庫	東島平町 26番地 (旧照島分団車庫)	鉄骨スレート造 平屋建	129.80	建築面積 62.65 延面積 62.65	S50.9
湊分団	湊町 3,126番地22	鉄筋コンクリート造 2階建	1,128.79 のうち一部	建築面積 81.52 延面積 136.80	S58.3
川南分団	大里 705番地11	鉄骨造H型 2階建	230.57	建築面積 53.38 延面積 106.76	S61.12
川北分団	大里 5,631番地	鉄骨造 2階建	595.31	建築面積 53.535 延面積 107.07	H4.12
川上分団	川上 1,171番地	鉄骨造H型 2階建	1,505.02 のうち一部	建築面積 48.19 延面積 96.38	S62.11
市来支所 分団	湊町 3,305番地	鉄筋コンクリート造 2階建	7600.82 のうち一部	建築面積 46.80 延面積 93.60	H5.12

5 平成21年度の主な行事

4月	8日	第1回消防幹部会議（消防本部会議室）
5月	10日	消防団員初任者研修会・機関員研修会（消防本部会議室他）
	17日	県総合防災訓練視察（枕崎市）
	19日	消防連合後援会総会（市内）
	29日	第32回鹿児島県消防救助技術指導会（鹿児島県消防学校）
	31日	市防災訓練（荒川地区）
6月	1日～7月15日	ウミガメ保護監視パトロール（市来地域の5分団）
	7日	消防団員互助会総会（消防本部会議室）
7月	2日	第2回消防幹部会議（消防本部会議室）
8月	21日	甲種防火管理再講習（消防本部会議室）
	23日	消防団部長以上幹部研修会（荒川コミュニティセンター）
	29日	湊・湊町地区自主防災訓練（湊・市来支所分団）
9月	6日	第2回いちき串木野市消防団規律訓練大会（公設地方卸売市場）
	11日	集団災害事故救急訓練（国民宿舎吹上浜荘）
10月	8日	県石油コンビナート等防災訓練（串木野基地）
	16日	第3回消防幹部会議（消防本部会議室）
	24日	第4回いちき串木野市防火管理協会自衛消防隊対抗防火大会
11月	9日～15日	秋季火災予防運動
	15日	消防合同演習 （串木野地域：塩屋町公民館　市来地域：寺迫公民館）
		消防団員・家族体育大会（市来中学校グラウンド）
	21日	火災防ぎょ訓練（羽島地区・冠岳地区）
	27日	危険物安全協会及び防火管理協会合同研修視察（メディアポリス指宿）
	27日	第4回消防幹部会議（消防本部会議室）
12月	29日～30日	消防団年末夜警（市内全域）
	29日	消防団年末夜警の市長等巡視
1月	10日	平成22年消防出初式（市民文化センター）
	19日	平成21年度鹿児島県原子力防災訓練
2月	12日	第5回消防幹部会議（消防本部会議室）
	22日	火災防ぎょ訓練（荒川地区）
3月	1日～7日	春季火災予防運動
	7日	火災防ぎょ訓練（湊地区）

6 消防予算

(1) 平成21・22年度消防予算（当初予算）

（単位：千円）

款・項・目	節	平成21年度	平成22年度	比較増減
9. 消防費		479,371	508,804	29,433
1. 消防費		479,371	508,804	29,433
	1. 常備消防費	387,888	430,793	42,905
	給料	179,856	175,624	△ 4,232
	職員手当等	129,817	127,989	△ 1,828
	共済費	56,454	58,608	2,154
	賃金	0	4,104	4,104
	旅費	1,061	1,418	357
	需用費	8,731	9,378	647
	役務費	2,481	3,275	794
	委託料	692	1,076	384
	使用料及び賃借料	696	2,201	1,505
	原材料費	19	19	0
	備品購入費	5,056	45,225	40,169
	負担金、補助及び交付金	2,847	916	△ 1,931
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公課費	177	959	782
	2. 消防団費	80,018	62,866	△ 17,152
	報酬	13,466	13,281	△ 185
	共済費	6,425	6,383	△ 42
	災害補償費	1,513	1,513	0
	報償費	5,015	5,364	349
	旅費	26,175	29,791	3,616
	需用費	3,443	3,448	5
	役務費	1,125	809	△ 316
	使用料及び賃借料	80	245	165
	原材料費	14	15	1
	備品購入費	21,441	857	△ 20,584
	負担金、補助及び交付金	715	806	91
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公課費	605	353	△ 252
	3. 消防施設費	1,355	3,903	2,548
	需用費	635	1,290	655
	委託料	173	1,224	1,051
	使用料及び賃借料	6	6	0
	原材料費	21	21	0
	備品購入費	0	242	242
	負担金、補助及び交付金	520	1,120	600
	4. 水防費	100	100	0
	5. 災害対策費	10,010	11,142	1,132

(2) 市総予算と消防予算 (当初予算)

(単位：千円)

区分 年度別	市 総 予 算	消 防 予 算	割 合 (%)	消 防 予 算 内 訳									
				常 備 消 防 費	割 合 (%)	消 防 団 費	割 合 (%)	消 防 施 設 費	割 合 (%)	水 防 費	割 合 (%)	災 害 対 策 費	割 合 (%)
18	14,538,000	810,785	5.6	441,528	54.5	67,114	8.3	2,749	0.3	117	0.01	299,277	36.9
19	12,838,000	501,897	3.9	389,619	77.6	92,376	18.4	5,491	1.1	108	0.02	14,303	2.8
20	12,457,000	494,324	4.0	390,564	79.0	83,997	17.0	8,188	1.7	105	0.02	11,470	2.3
21	12,470,000	479,371	3.8	387,888	80.9	80,018	16.7	1,355	0.3	100	0.02	10,010	2.1
22	13,042,000	508,804	3.9	430,793	84.7	62,866	12.4	3,903	0.8	100	0.02	11,142	2.2

(3) 消防予算と人口・世帯数との比較 (当初予算)

年度	消防予算(円)	住民一人当たりの 消防費 (円)	一世帯当たりの 消防費 (円)	人 口 (人)	
				世 帯 数	
18	810,785,000	24,817	60,036	32,670	
				13,505	
19	501,897,000	15,519	37,153	32,340	
				13,509	
20	494,324,000	15,553	36,704	31,784	
				13,468	
21	479,371,000	15,255	35,617	31,424	
				13,459	
22	508,804,000	16,330	37,810	31,158	
				13,457	

7 人事・教養

(1) 消防職員の配置状況

(H22.4.1現在)

区 分 階 級	実 員	消 防 本 部								消 防 署				分 遣 所		
		消 防 長	消 防 参 事 兼 次 長	主 幹	総 務 係	予 防 係	危 険 物 係	救 急 係	警 防 係	署 長	署 主 幹	第 一 部 隊	第 二 部 隊	分 遣 所 長	第 一 部 隊	第 二 部 隊
司令長	1	1※														
司令	6			3※		1				1※	2	1		1		
司令補	10				1		1	1	1			4	5			1
士長	20											6	6		4	4
副士長	1														1	
消防士	10											5	5			
その他	0															
合計	48	1		3	1	1	1	1	1	1	2	16	16	6		5

- 注 1. ※印は日勤者
 2. 分遣所長は署主幹を兼ねる。
 3. 各係長は署員を兼ねる。

(2) 消防職員の年齢

(H22.4.1現在)

年 齢 階 級	20	20	25	30	35	40	45	50	55	60	合 計	平 均 年 齢
	歳 未 満	歳 ～ 24 歳	歳 ～ 29 歳	歳 ～ 34 歳	歳 ～ 39 歳	歳 ～ 44 歳	歳 ～ 49 歳	歳 ～ 54 歳	歳 ～ 59 歳	60 歳 以 上		
司令長									1		1	58.0
司令							2	4			6	50.7
司令補						3	5	2			10	46.0
士長				2	10	7	1				20	39.0
副士長			1								1	29.0
消防士		3	4	2	1						10	28.0
その他											0	0.0
合計		3	5	4	11	10	8	6	1		48	40.4

(3) 消防職員の勤続年数

(H22.4.1現在)

勤続年数 階級	5年未満	5年 ～ 9年	10年 ～ 14年	15年 ～ 19年	20年 ～ 24年	25年 ～ 29年	30年 ～ 34年	35年 以上	合計
司令長								1	1
司令						1	5		6
司令補					5	3	2		10
士長	5		3	8	4				20
副士長			1						1
消防士	9	1							10
その他									0
合計	14	1	4	8	9	4	7	1	48

(4) 消防吏員の階級別及び過去3年間の教養状況

(H22.4.1現在)

階級別 学科別	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	平成 19年 度	平成 20年 度	平成 21年 度
	1	6	10	20	1	10			
消防 大学 校	救助科		1						
	火災調査講習会		2						
消 防 学 校	初任科	1	6	10	20	1	8	4	3
	救急Ⅰ課程	1	6	11	5				
	救急Ⅱ課程		3	8	4				
	救急標準課程				7				
	救急科				6	1	2	1	3
	気管挿管講習			4	4			1	2
	救助科		4	5	4				
	警防科		1		2			1	1
	予防科(課程)		4	2	1				
	査察課程				1				
	予防査察課程			1	2				1
	火災調査課程			2	5				1
	初級幹部科			3				1	1
	中級幹部科		2						1
無線科		1							
職員指導員科	1								
梯子車研修		2	2						
救急救命 九州研修所	救急救命士研修			4	6			1	1
	薬剤投与追加講習			3				1	1
気管挿管病院実習			4	1			1	1	
海洋研究 開発機構	潜水業務管理研修		1	1	1			2	
	潜水技術特別研修			1	1				
消防救急緊急自動車 運転技能者研修	1								
九州地区警防実務研修		1						1	

8 消防団

(1) 消防分団所轄区域、定員及び幹部名

(H22.4.1現在)

分団 区分	団 本 部	中 央	本 浦	照 島	羽 島	荒 川	旭	生 福	冠 岳	湊	川 南	川 北	川 上	市 来 支 所	合 計	
団 長	1														1	
副団長	2														2	
分団長		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	
副分団長		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	
部 長		4	2	3	4	2	2	3	2	2	2	2	2	2	32	
班 長		6	4	5	6	4	4	5	4	4	4	4	4	4	58	
団 員		20	11	13	20	9	9	14	11	9	11	8	11	12	158	
実 員	3	32	19	23	32	17	17	24	19	17	19	16	19	20	277	
定 員	3	32	20	25	32	20	20	25	20	20	20	20	20	20	297	
所 轄 区 域		串 木 野 地 区 (本浦分団区域を除く。)	本 浦 地 区	照 島 地 区	羽 島 ・ 土 川 地 区	荒 川 地 区	旭 地 区	生 福 地 区	冠 岳 地 区	湊 ・ 湊 町 地 区	大 里 の う ち 川 南 地 区	大 里 の う ち 川 北 地 区	川 上 地 区	市 来 地 域		
世帯数		4,628	1,246	2,561	931	174	311	629	168	1,142	620	755	292		13,457	
人 口		10,773	2,707	5,966	2,076	386	633	1,629	319	2,782	1,374	1,876	637		31,158	
団 長	副団長	分 団 長														
岡 田 正 治	井 原 手 迫 政 昭	柳 田 三 男	上 新 薫	新 村 義 治	久 保 一 夫	東 幸 基	竹 之 下 直 正	木 場 良 一	松 下 進	迫 勝 博	田 崎 昭 彦	池 田 郁 郎	大 迫 修 藏	中 間 久 敬		

(2) 消防団員の勤続年数

(H22. 4. 1現在)

階級	勤務年数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年以上	合計
団長									1	1
副団長									2	2
分団長				1		3	5	4		13
副分団長				1	3	4	3	2		13
部長			2	6	12	7	5			32
班長		2	16	19	12	7	2			58
団員	66	42	32	8	9	1				158
合計	66	44	50	35	36	22	15	9		277

(3) 消防団員の年齢

(H22. 4. 1現在)

階級	年齢	24歳以下	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
団長											1	1	67.0
副団長											2	2	65.0
分団長				1			1		7	4		13	60.8
副分団長				1	1	2	5	2	2			13	56.5
部長				2	2	5	14	7	2			32	55.9
班長				6	3	12	14	18	5			58	51.2
団員	7	18	28	30	19	17	16	14	9			158	40.6
合計	7	18	28	40	22	32	38	51	30	11		277	46.5

(4) 消防団員出場状況表

(H21年度)

分団別 出場区分		回数	団本部	中央	本浦	照島	羽島	荒川	旭	生福	冠岳	湊	川南	川北	川上	市来支所	合計	
		人員	7	6	6	6	3	1	1	0	0	2	1	1	2	2	2	38
火災	火災	回数	13	126	102	78	63	16	16	0	0	14	9	12	15	21	485	
	人員	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
等災害	風水害等の災害	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	回数	7	6	6	6	3	1	1	0	0	2	1	1	2	2	38	
演習訓練等	演習訓練	人員	13	126	102	78	63	16	16	0	0	14	9	12	15	21	485	
		回数	14	25	22	23	21	21	20	21	21	26	23	23	22	24	306	
演習訓練等	その他	人員	32	288	206	229	291	199	178	208	189	232	199	186	193	213	2,843	
		回数	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
演習訓練等	小計	人員	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
		回数	23	25	22	23	21	21	20	21	21	26	23	23	22	24	315	
演習訓練等	小計	人員	41	288	206	229	291	199	178	208	189	232	199	186	193	213	2,852	
		回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	広報指導	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	警防調査等	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		回数	4	3	4	3	3	2	2	2	2	3	3	2	2	2	37	
その他	特別警戒	人員	10	56	50	46	69	32	34	44	34	41	41	32	33	40	562	
		回数	1	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
その他	捜索	人員	1	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
		回数	19	16	15	14	17	14	15	12	12	13	12	10	19	13	201	
その他	その他	人員	39	94	65	74	75	57	62	72	49	49	50	40	61	56	843	
		回数	24	19	19	17	35	16	17	14	14	16	15	12	21	15	254	
合計	小計	人員	50	150	115	120	159	89	96	116	83	90	91	72	94	96	1,421	
		回数	54	50	47	46	59	38	38	35	35	44	39	36	45	41	607	
合計	延回数	延人員	104	564	423	427	513	304	290	324	272	336	299	270	302	330	4,758	

(5) 消防団員の報酬等

(単位：円)

階級 区分		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
		報酬	143,200	92,500	84,400	46,700	42,700	41,200
費用弁償	災害・訓練等 出動手当	消防ポンプ車等の機関員 年額15,000 小型動力ポンプ機関員 年額10,000 1回1人 5,100						

9 いちき串木野市消防連合後援会

(H22.5.19現在)

後援会(部)名	会(部)長	役職名
中央分団後援会	野元克己	会長
本浦分団後援会	下ノ蘭真孝	
照島分団後援会	濱涯龍也	監事
羽島地区公民館消防後援部	池野清隆	副会長
荒川地区公民館消防後援部	別府嶺頭	
旭地区公民館消防後援部	西野壹	
生福地区公民館消防後援部	松田昭和	
冠岳地区公民館消防後援部	松下兵衛	
湊分団後援会	妙円園努	
川南分団後援会	本田幸広	
川北分団後援会	松崎直孝	副会長
川上分団後援会	内田政司	監事

10 表彰(平成20年度)

(1) 消防庁長官表彰

- 永年勤続功労章
 - (中央) 柳田三男
 - (川南) 宇都耕平
 - (本部) 池田豊

(2) 日本消防協会会長表彰

- 勤続章
 - (湊) 迫勝博
 - (中央) 前屋稔
 - (川北) 紙屋伊智郎
 - (本部) 木之下芳文
 - (本部) 新屋義和

(3) 鹿児島県知事表彰

- 10年勤続章
 - (中央) 川元悟嗣
 - (中央) 坂口賢介
 - (本浦) 坂口謙介
 - (羽島) 川口和浩
 - (羽島) 平石芳人
 - (荒川) 古蘭義人
 - (旭) 松元徹一
 - (冠岳) 山本伸一
 - (冠岳) 松野健児
 - (川南) 本鍋田優作

(4) 全国消防長会会長表彰

- 40年勤続功労者章
 - (本部) 内屋照男
- 30年勤続功労者章
 - (本部) 原蘭照明
 - (本部) 木之下芳文
 - (本部) 若松勝司
 - (本部) 新屋義和
- 20年勤続功労者章
 - (本部) 中谷良博

(5) 鹿児島県消防協会総裁表彰

- 功績章
 - (冠岳) 田代久治
 - (照島) 上夷修二
 - (羽島) 藤崎貢
 - (川北) 富永豊
 - (羽島) 川口勝良
 - (生福) 大六野弘行
 - (湊) 前田浩幸
 - (羽島) 安藤博昌
 - (湊) 後潟克也
 - (川南) 出森一郎
 - (本部) 大寺重哉
 - (本部) 上夷征史
 - (本部) 馬込圭三
 - (本部) 中馬宗夫
 - (本部) 中谷良博
 - (本部) 石原聖
- 精績章
 - (中央) 赤岩喜久生
 - (荒川) 蓑手恒久
 - (旭) 南鶴清人
 - (冠岳) 川畑信隆
 - (本部) 下袴田雄一
 - (本部) 脇蘭博史
 - (本部) 鹿島啓

(7) いちき串木野市長表彰

- 10年勤続章
 - (支所) 松崎英樹
 - (羽島) 平石芳人
 - (荒川) 古蘭義人
 - (旭) 三浦久士
 - (冠岳) 山本伸一
 - (冠岳) 松野健児
 - (湊) 久保公彦
 - (川南) 本鍋田優作

(8) いちき串木野市長感謝状

- 20年以上勤続団員の奥様
 - (照島) 上夷香陽子
 - (羽島) 藤崎きみえ
 - (川北) 富永みちよ
 - (羽島) 川口千鶴
 - (生福) 大六野みゆき
 - (湊) 前田尚美
 - (羽島) 安藤由美
 - (湊) 後潟まゆみ
- 須賀婦人消防協力隊
(20年勤続)
湯田フミ子

(6) 鹿児島県消防協会日置支部長表彰

- 15年勤続章
 - (支所) 芹ヶ野幸淑
 - (照島) 石野潤一
 - (照島) 馬田義博
 - (旭) 中山勝
 - (生福) 久徳五男
 - (荒川) 竹之内勉
 - (湊) 松下良照
 - (川南) 宇都幸弘
 - (川上) 東園末男

Ⅲ 予防・危険物

防火対象物数（法第17条）・・・・・・・・ 1, 121

危険物施設数（法第17条）・・・・・・・・ 140

1 防火対象物の状況

多数の人が利用する建築物は、火災が発生した場合人命危険が大きいため、一定規模以上の建築物については、防火管理者の選任及び消火設備、警報設備、避難設備などの消防用設備等の設置と維持管理が消防法で義務付けられている。(H22.4.1現在)

対 象 物 別		区 分	対 象 物 数 (150㎡以上)	防火管理者が必要 な対象物数 (150㎡未満を含む)	定期点検 が必要な 対象物数
1 項	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1	1	1
	ロ	公会堂、集会場	21	48	10
2 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類			
	ロ	遊技場、ダンスホール	4	4	4
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	1	1	
3 項	イ	待合、料理店の類			
	ロ	飲食店	18	22	2
4 項		百貨店、マーケット、展示場の類	51	27	7
5 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	7	5	2
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	195	15	
6 項	イ	病院、診療所、助産所	32	18	
	ロ	老人福祉施設等（入所施設）	11	11	
	ハ	保育所、老人デイサービスセンター等	16	9	
	ニ	幼稚園、特別支援学校	18	5	
7 項		小・中・高・大学各種学校の類	79	16	
8 項		図書館、博物館、美術館の類	2	2	
9 項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類			
	ロ	上記以外の公衆浴場	3	1	
10 項		車両の停車場又は船舶、航空機の発着場	1		
11 項		神社、寺院、教会の類	5	4	
12 項	イ	工場、作業場	175	12	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			
13 項	イ	自動車車庫、駐車場	35		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14 項		倉庫	122		
15 項		前各項に該当しない事業場	154	27	
16 項	イ	特定防火対象物が存する複合用途対象物	109	39	8
	ロ	上記以外の複合用途対象物	58	2	
16の2 項		地下街			
16の3 項		準地下街			
17 項		重要文化財の類			
18 項		延長 50m以上のアーケード	3		
合 計			1, 121	269	34

2 防火対象物階層別状況（4階以上・棟数）

（H22.4.1現在）

令別表第一区分		4階	5階	6階	10階	合計
5項	イ 旅館・ホテル等	1 湊町 1				1
	ロ 共同住宅・寄宿舎等	41 中央 11 本浦 5 照島 10 羽島 1 川北 5 湊町 5 湊 4	15 中央 1 照島 13 湊町 1			56
6項	イ 病院・診療所等	5 中央 1 照島 3 湊町 1				5
	ロ 各種福祉施設等	1 川南 1	1 中央 1			2
7項	小学校・中学校・高等学校・大学、各種学校等	3 照島 3	2 照島 2			5
12項	イ 工場又は作業場	2 中央 1 荒川 1				2
14項	倉庫	1 本浦 1				1
15項	前各項に該当しない事業場（事務所等）	4 中央 1 本浦 2 羽島 1				4
16項	イ 複合用途防火対象物（特定用途部分を含むもの）	9 中央 9	1 中央 1	1 中央 1	1 中央 1	12
	ロ 複合用途防火対象物（特定用途部分を含まないもの）	4 中央 4				4
合計		71	19	1	1	92
地区別	中央	27	3	1	1	32
	本浦	8				8
	照島	16	15			31
	羽島	2				2
	荒川	1				1
	川南	1				1
	川北	5				5
	湊	4				4
湊町	7	1			8	
専用住宅		1				1

3 建築同意事務等処理状況

(1) 建築同意状況

(H21年度)

工事種別 \ 対象物別	一	三	四	六	十二	十三	十四	十五	十六	専住	合
	項	項	項	項	項	項	項	項	項	住	
	口	口		ハ	イ	イ			口	そ	計
										の	
										他	
新築	1	1	1		6	1	5	8	1	11	35
増築			1								1
その他				2			1			2	5
合計	1	1	2	2	6	1	6	8	1	13	41

(2) 専用住宅建築確認通知状況

(H21年度)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	14	3	6	14	3	13	7	9	5	22	6	3	105

4 消防用設備等設置検査実施状況

(H21年度)

設備別 \ 対象物別	三	六	六	六	七	十二	十四	十五	十六	合
	項	項	項	項	項	項	項	項	項	
	口	イ	口	二		イ			イ	計
消火器	1						2			3
屋内消火栓設備					2					2
スプリンクラー設備		1	5	1					1	8
自動火災報知設備			1	3	2	3		1	2	12
非常警報設備	1							1		2
誘導灯	1					1				2
誘導標識							1	1		2
粉末消火設備			1							1
合計	3	1	7	4	4	4	3	3	3	32

5 消防法関係届出状況

(H21年度)

対象物別		区別	防火管理者 選任届	防火管理者 解任届	消防計画 作成(変更)届	工事整備対象 設備等着工届	消防用設備等 (特殊消防用設備等) 設置届	消防用設備等 点検結果報告
1項	イ		1	1	1			1
	ロ		4	3	5			22
2項	イ							
	ロ		2	2	4			5
	ハ							1
	ニ							
3項	イ							
	ロ		1		1	2	3	7
4項			5	5	5	2		19
5項	イ					3	3	10
	ロ		4	3	4			17
6項	イ				1	1		25
	ロ		5	3	5	7	6	14
	ハ		3	1	4			13
	ニ		2	2	2	3	4	3
7項			5	5	6	5	5	1
8項			1	1	1			
9項	イ							
	ロ							1
10項								
11項								1
12項	イ		2	1	2	2	5	16
	ロ							
13項	イ							
	ロ							
14項						2	3	5
15項			4	3	4		3	17
16項	イ		4	3	5		3	32
	ロ		1		2			
16の2項								
16の3項								
17項								
18項								
19項								
20項								
合計			44	33	52	27	35	210

6 火災予防条例関係届出状況

(H21年度)

種別 \ 月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
炉													0
ボイラー設備													0
変電設備									1				1
発電設備													0
蓄電池設備	1		1										2
乾燥設備													0
水素ガスを充てんする気球	1			13	3		3	1	1				22
消防用設備等緩和願													0
防火対象物使用開始	2	1	3	1				1	2	1	1		12
火災とまぎらわしい煙又は 火災を発生するおそれのある行為	4	5	4		2	4	6	1	4	10	4	1	45
煙火打ち上げ			1	1	1	1							4
禁止行為の解除承認						1							1
給湯湯沸設備													0
道路工事	3	2	5	4	7	8	6	8	8	8	8	4	71
合計	11	8	14	19	13	14	15	11	16	19	13	5	158

7 防火啓発状況

(H21年度)

方 法	対 象	回 数	備 考
広 報 車	市 内 全 域	6	春・秋火災予防運動期間中 又は火災気象通報発表時 等の防火上警戒を要する 時に実施
防 災 行 政 無 線	市 内 全 域	30	
広報くしきの(おしらせ版)	市 内 全 家 庭	9	
防 火 ポ ス タ ー 配 布	市 内 各 事 業 所 等	12	
避 難 訓 練 等 指 導	各公民館・各事業所等	145	各公民館、各事業所等から の依頼で実施
防 火 ・ 防 災 座 談 会	各公民館・各事業所等	9	各種会合時、又は公民館等 からの依頼で実施

8 危険物施設の状況

(H22.4.1現在)

施設区分 倍数別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
5倍以下	1	4	3		13		14		3			12	50
5倍を越え 10倍以下		2	4	2	6		2	2	7			8	33
10倍を越え 50倍以下			11		4				8			4	27
50倍を越え 100倍以下			1						9				10
100倍を越え 150倍以下			1		1				3				5
150倍を越え 200倍以下									5				5
200倍を越え 1000倍以下			2								1		3
1000倍を越えるもの			6								1		7
合 計	1	6	28	2	24		16	2	35		2	24	140

9 危険物関係許可・検査処理状況

(H21年度)

種 別 施設区分	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				計
		屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般	
設 置 許 可	1		6									2	9
変 更 許 可			3				1		6				10
完 成 検 査			3				1		6			1	11
水 圧 ・ 水 張 検 査													
仮使用（貯蔵取扱）承認									5				5
計	1		12				2		17			3	35

10 危険物施設の立入検査状況

(H21年度)

施 設 別	実 施 施 設 数	立 入 検 査 延 回 数
製 造 所	1	1
屋 内 貯 蔵 所	6	6
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	28	28
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2	2
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	26	26
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	16	16
屋 外 貯 蔵 所	2	2
給 油 取 扱 所	34	34
販 売 取 扱 所		
移 送 取 扱 所	1	1
一 般 取 扱 所	22	22
計	138	138
少量危険物貯蔵取扱所	27	27

11 液化石油ガス等の保安指導状況

(1) 届出の義務

消防法第9条の3では、火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある圧縮アセチレンガス、液化石油ガスその他の物質（毒物、劇物等）を政令で指定し、一定以上の貯蔵又は取扱いをする場合、消防長等に届け出ることを義務づけている。

(2) 消防機関の対応

この届出に対し、消防機関は先ず、火災予防措置として査察指導を行い、火災発生の未然防止を図り、次に万一の火災発生時において、これらの物質から発生する特異かつ重大な危険が付近住民に波及することを防止し、かつ消火活動にあたる消防職員に対する危害を防止するための対策に役立てることを狙いとする。

(3) 液化石油ガス施設等の現況

(H22.4.1現在)

物 質	数 量	貯蔵・取扱施設数	備 考
液 化 石 油 ガ ス	3 0 0 kg 以上	2 2 5	
圧縮アセチレンガス	4 0 kg 以上	2	
シアン化ナトリウム	3 0 kg 以上	1	毒 物
硫 酸	2 0 0 kg 以上	3	劇 物

12 串木野国家石油備蓄基地の概要及び現況

(1) 概 要

位 置：いちき串木野市西薩町1番地及び北部丘陵地（荒川・下名地区）

備 蓄 方 式：常圧貯蔵横穴水封固定水床式

面 積：貯油施設地区26ha（投影）地上施設地区5ha

貯蔵許可数量：1,740,874.4KL（約175万KL）

類 別・品 名：第4類 第1石油類（原油）

地 下 貯 油 槽（岩盤タンクに係る屋外タンク貯蔵所）

形 状：卵型（高さ22m×幅18m×長さ555m）10基

水封トンネル：3本

地上荷役施設：操油設備・用役設備・電気計装設備・公害防止設備・安全防災設備・管理施設等

海上荷役設備：10万DWT級1点係留浮標式係留設備1基・海底原油配管2,300m

危険物の移送量：受け入れ時 120,000KL/日

払い出し時 96,000KL/日

他の危険物施設：屋外タンク貯蔵所 7 地下タンク貯蔵所 1

屋内貯蔵所 1 一般取扱所 6 移送取扱所 2

石油コンビナート等特別防災区域指定：平成4年8月28日

串木野基地起工：昭和62年3月31日

備蓄原油総量：約168万KL



(2) 現 況

ア. 鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練の実施

鹿児島県石油コンビナート等防災計画に基づき、平成21年10月8日（木）総合防災訓練を実施しました。

訓練参加者

鹿児島県、いちき串木野市、いちき串木野市消防本部、いちき串木野警察署など11機関。

消防車、パトカーなど計20台。

総勢158名。

訓練想定

①薩摩地方を震源とする震度5強の地震が発生。原油揚荷作業中の串木野国家石油備蓄基地で

は、エアーセパレーター101B 上流配管フランジ部より原油が漏洩し、原油受払い設備エリア内に流出。漏れた原油が何らかの原因で着火し、火災が発生。

②TK-101 堅坑上部室内でガスが発生し、事業所員 1 名がガス中毒及び転倒時に足を骨折。

(地上部で TK-101 堅坑上部室内を想定した救出・救護訓練)

③鹿児島県防災本部からの緊急要請により、上空偵察中の県消防・防災ヘリコプターは負傷者 1 名を収容し、第三次医療機関への緊急搬送を行う。

※本訓練は、ヘリコプターのエンジントラブルのため中止。

訓練項目

①緊急通報訓練②自衛防災本部設置訓練③現場指揮本部設置訓練④救出・救護訓練⑤土嚢構築訓練⑥被害情報収集・伝達訓練⑦救急搬送訓練⑧初期消火訓練⑨消火・延焼防止訓練

訓練時間 10:00～11:30

【訓練風景】



救出・救護訓練



一斉放水

イ. 緊急放出訓練

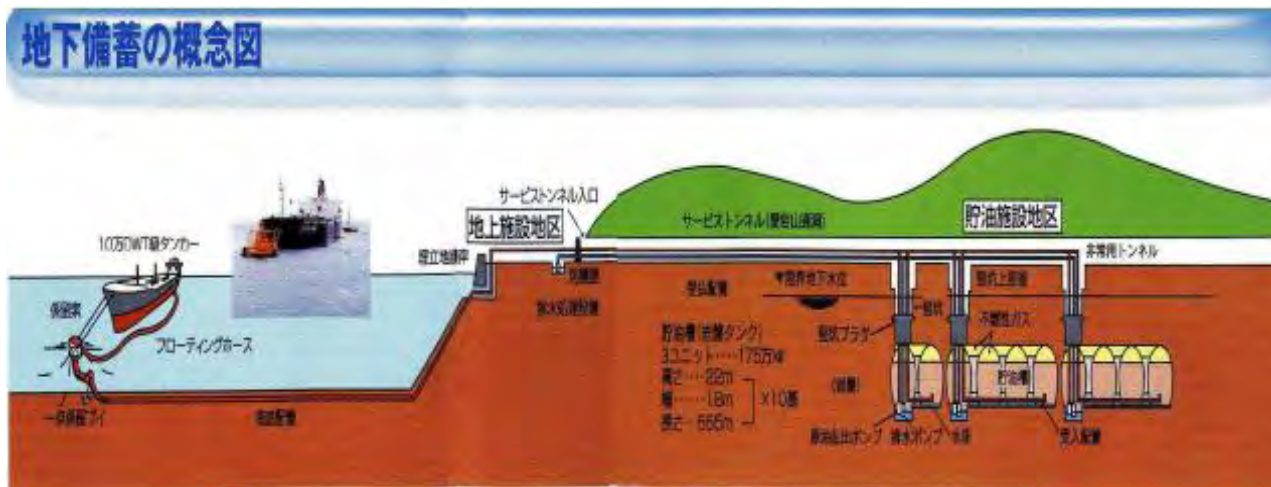
緊急時において備蓄石油の迅速かつ円滑な放出ができるような対応体制を確立するため、実際にタンカーを国家石油備蓄基地に着桟させ、国家備蓄石油の搬出及び搬入をする「緊急放出訓練」を実施しています。

当基地では、本訓練を平成 21 年 10 月 29 日から 11 月 1 日にかけて実施しました。(通算 7 回目)



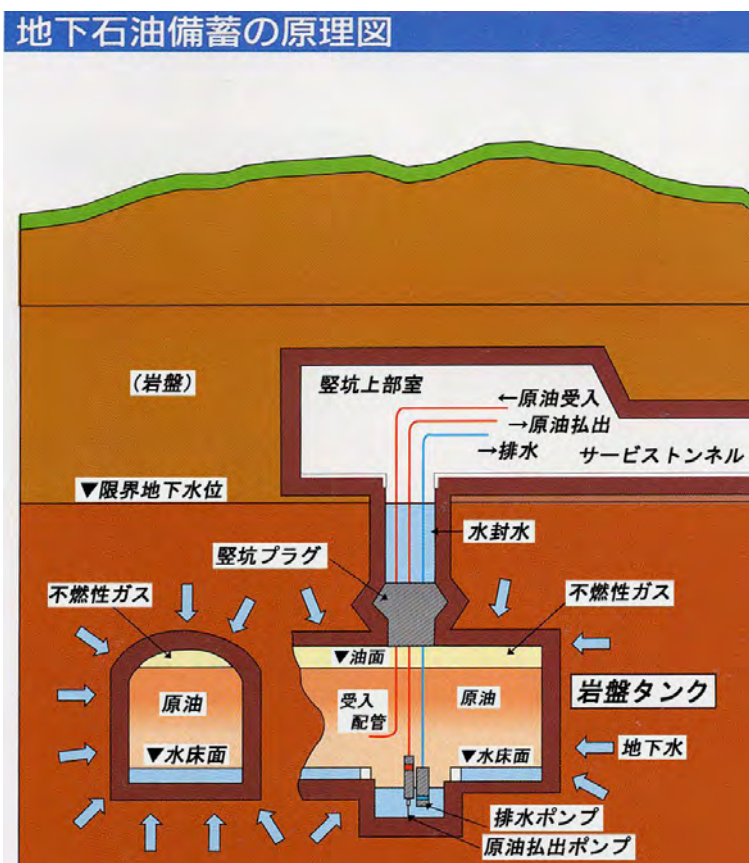
【一点係留ブイと原油タンカー】

【地下岩盤タンクのしくみと水封式地下備蓄の原理】



水封式地下石油備蓄とは、地下水面下の岩盤内に空洞を掘ってそこに原油を貯蔵する方式です。自然の地下水に加え、一部水封トンネルから水を供給して空洞の周りの水圧を貯蔵された原油の圧力より高くすることによって、漏油、漏気を防止するシステムです。

岩盤タンクの水床の上に原油を貯めます。岩盤タンクにしみ出た地下水は、底水排水槽から排水ポンプにより排出されます。



13 消防協力団体の結成状況（H22.4.1現在）

(1) いちき串木野市幼少年婦人防火委員会

◎ 結成年月日 昭和55年 5月 1日

◎ 目的

当委員会は、防火・防災に対する地域住民の理解と協力を得るため、その推進の中核となるクラブ等の結成、促進並びに育成強化を図ることを目的とする。

(委員名簿)

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	池 田 豊	いちき串木野市消防長
委員 (監事)	岡 田 正 治	いちき串木野市消防団長
委 員	中 村 孝 子	須賀婦人消防協力隊隊長
〃	塩 屋 か よ 子	照島地区婦人防火クラブ会長
〃	安 藤 時 子	土川地区婦人防火クラブ会長
〃	牧 田 京 子	羽島保育園・幼児園幼年消防クラブ会長
〃	神 村 勲	神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ会長
〃	井 上 恒 夫	願船寺保育園幼年消防クラブ会長
〃	森 藤 友 久	市来幼稚園幼年消防クラブ会長
事 務 局	石 原 聖	いちき串木野市消防本部 予防係主任

(2) 幼年消防クラブ

◎ 目的

幼年期に消防の研修を行い、火に対する正しい認識を身につけさせ、園及び各家庭の火災の予防を図るとともに、将来、人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的とする。

名 称	結 成 年 月 日	人 員
羽島保育園・幼児園幼年消防クラブ	昭和60年5月20日	115名
会 長 牧田京子	副会長 田島美咲	
市来幼稚園幼年消防クラブ	昭和62年5月23日	62名
会 長 森藤友久	副会長 村岡由一	
神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ	平成2年7月16日	126名
会 長 神村 勲	副会長 橋口富美子	
願船寺保育園幼年消防クラブ	平成6年2月19日	88名
会 長 井上恒夫	副会長 井上弘顕	

(3) 婦人防火クラブ

◎ 目的

家庭における火災の防止及び地域ぐるみの自主防災体制の確立が図られるよう初期消火等の訓練及び防火研修などを実施し、防火安全体制の確立を図ることを目的とする。

名 称	結 成 年 月 日	人 員
須賀婦人消防協力隊	昭和30年11月29日	27名
隊 長 中村孝子	副隊長 通山美津江	
照島地区婦人防火クラブ	昭和52年7月23日	1,363名
会 長 塩屋かよ子	副会長 奥みちよ	
土川地区婦人防火クラブ	昭和58年9月10日	26名
会 長 安藤時子	副会長 岩下裕子	

(4) 防火管理協会

◎ 目的及び事業

災害予防対策の研究及び消防思想の普及発達に寄与することを目的とし、併せて会員相互の連絡親睦を厚くし、次の事業を行うものとする。

- ア 消防思想の普及高揚及び災害発生時における会員相互の応援業務
- イ 防火消防諸施設の視察研究
- ウ 自衛消防の強化促進
- エ 各種災害の予防対策の研究
- オ 消火器の維持管理の指導及び検査
- カ 優良事業所及び会員の表彰に関する事。
- キ 会員の弔慰見舞に関する事。
- ク その他本会の目的達成上必要と認めた事業

名 称	発 会 年 月 日	加 入 事 業 所 数
いちき串木野市防火管理協会	平成 18 年 5 月 24 日	1 2 1
(H22.5 現在) 会 長 播磨 誠 副会長 溜池一孝・吉尾逸平		

(5) 危険物安全協会

◎ 目的及び事業

危険物保安対策の研究及び消防思想の普及宣伝並びに防火施設の拡充強化に寄与し、会員相互の融和親睦を図ることを目的として、次の事業を行うものとする。

- ア 消防関係、諸法規の周知徹底に関する事。
- イ 消防思想の普及宣伝に関する事。
- ウ 危険物及び高圧ガスに対する防火及び消防諸施設の視察並びに研究に関する事。
- エ 危険物取扱者の研修に関する事。
- オ 優良事業所及び優良従業員の表彰に関する事。
- カ 会員の弔慰に関する事。
- キ その他、本会の目的達成上必要と認めた事業

名 称	発 会 年 月 日	加 入 事 業 所 数
いちき串木野市危険物安全協会	平成 18 年 5 月 26 日	8 9
(H22.5 現在) 会 長 上夷慶克 副会長 寺田洋孝・藤田 誠・迫 直		

IV 火災・救急・救助

火災件数	22件
損害額	64,592千円
死者	0人
負傷者	0人
救急件数	1,260件
搬送人員	1,201人
救助件数	10件
救助人員	4人

1 平成21年中の火災発生状況

火災番号	月日	発生場所	種別	原因	初期消火の有無	焼損棟数、り災世帯及び人員								建物焼損面積		林野その他	損害額	死者	負傷者
						全焼		半焼		部分焼		ぼや		床面積㎡	表面積㎡	焼損面積			
						世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員						
1	1.31 15:30	まぐる本町 道路上	その他	放火 (放火自殺)	無												1		
2	2.15 14:27	大里 中福良	その他	たき火	有								1,200㎡						
3	3.12 7:40	春日町	建物	こんろ	有										1				
4	5.10 17:00	湊 迫	建物	不明・調査中	有										1	4			
5	5.15 12:20	羽島 河原	林野	たき火	無													8a	
6	6.1 16:30	下名 芹ヶ野	その他	たき火	無	1						10		4a 44㎡			434		
7	6.15 14:20	下名 深田下	その他	たき火	有									120㎡					
火騒	7.23 11:20	上名 麓	—	—	—														
8	7.14 16:25	元町	車両	電気装置	有													8	
9	7.24 13:15	川南 松原	その他	不明・調査中	有												1	1	
10	7.27 3:35	川北 宇都	車両	不明・調査中	無													474	
11	8.27 20:10	野元	建物	不明・調査中	有					1	1		2					316	
火騒	9.4 15:30	川上 内門	—	—	—														
12	9.10 15:20	上名 大藪	その他	たき火	有														
13	9.10 16:50	上名 別府	その他	たき火	有									1078㎡				4	
14	9.16 15:25	湊町 渦ノ小路	その他	たき火	有									154㎡					
15	9.18 2:20	下名 平江	その他	たき火	無									4㎡					
16	9.21 9:28	羽島 平山	その他	たき火	有									100㎡				7	
火騒	9.28 不明	生福 福藪	—	—	—														
火騒	10.14 5:30	下名 上深田	—	—	—														
17	10.19 不明	川上 内門	建物	風呂かまど	有							1						8	
18	10.20 14:03	川上 内門	その他	火入れ	有									357㎡					
19	11.15 23:50	羽島 横須	建物	電灯・電話等 の配線	有	5				1		444	7					52,620	3
20	11.30 3:40	下名 ひばりが丘	建物	不明・調査中	無					2		55	32					2,853	
21	12.17 16:45	大里 島内	車両	内燃機関	有													55	
22	12.24 20:00	荒川 荒川下	建物	ストーブ	無	1						221						7,812	1
合計	建物: 7件		船舶: 1件		合計: 22件	7棟	2棟	2棟	3棟	731	41	林野 12a	千円	名	名				
	林野: 1件		その他: 11件			住家3 非住家4	住家2 非住家2	住家2 非住家	住家3 非住家							64,592	2	4	
						3	5	2	5	3	6	その他 3,057							

2 火災統計

(1) 平成21年中の火災状況 (いちき串木野市・鹿児島県・全国)

区 分	いちき串木野市	鹿児島県 (概数)	全 国 (概数)
火 災 件 数	22	1,045	51,124
建 物	7	530	28,350
林 野	1	52	2,082
車 両	3	83	5,325
船 舶	0	6	109
航 空 機	0	0	4
そ の 他	11	374	15,254
焼 損 棟 数	14	813	38,774
建 物 焼 損 床 面 積 (m ²)	731	31,857	1,223,353
建 物 焼 損 表 面 積 (m ²)	41	1,972	125,615
林 野 焼 損 面 積 (a)	12	629	106,276
り 災 世 帯 数	8	546	25,336
り 災 人 員	16	1,201	61,248
死 者	2	33	1,877
負 傷 者	4	129	7,615
損 害 額 (千 円)	64,592	1,641,452	9,300,968
建 物	63,609	1,597,214	/
林 野		2,532	
車 両	537	26,442	
船 舶		3,463	
航 空 機			
そ の 他	446	8,164	
爆 発		3,637	

(2) 過去5年間の年別火災概要

区分 年	火災件数					焼損棟数					焼損面積			死傷者		り災世帯数			り 災害人員	損害額 (千円)			
	建物	林野	車両	船舶	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	建物床面積 ² m	建物表面積 ² m	林野	死者	負傷者	全損	半損	小損			計		
平成17年	7	2	1		8	18	1	1		5	7	307		25	1	1	1		1	2	5	11,101	
	1				5	6				1	1								1	1	7	579	
平成18年	8	4	2		9	23		1	1	6	8	843	444		1					3	3	7	60,529
平成19年	6	4	1		13	24	3	1	1	7	12	328		5	1	3	2		5	7	20	18,921	
平成20年	3	1	3		8	15	1		2		3	52		7			1			1	2		1,838
平成21年	7	1	3		11	22	7	2	2	3	14	731	41	12	2	4	3		5	8	16	64,592	
合計	32	12	10	0	54	108	12	5	6	22	45	2,261	485	49	5	8	7	0	15	22	57	157,560	

(3) 過去5年間の原因別火災発生件数

区分 年	たばこ	こんろ	風呂かまど	炉	焼却炉	ストーブ	電気機器	電気装置	電灯・電話等配線	配線器具	交通機関内配線	火あそび	たき火	溶接機・切断機	灯火	火入れ	放火	放火の疑い	その他	内燃機関	不明・調査中	計
平成17年	2	1			1				2				10				1	2	2		3	24
平成18年		1						1	2				10	1				1	5		2	23
平成19年	2	2							1				13			1	1		1		3	24
平成20年	3		1				1			1			6						2		1	15
平成21年		1	1			1	1	1	1				9			1	1			1	5	22
合計	7	5	2	1	0	1	1	4	4	1	0	0	48	1	0	2	3	3	10	1	14	108

(4) 過去5年間の月別火災発生件数

年 月	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	計
1	2	4	1	1	1	9
2		3	2	5	1	11
3	1	1	2	4	1	9
4	1	1	1			3
5	1		3	1	2	7
6	3	1	3		2	9
7	2	5	1	1	3	12
8	1		3	2	1	7
9	3	2	4		5	14
10	5	4	1	1	2	13
11	3	1			2	6
12	2	1	3		2	8
計	24	23	24	15	22	108

(5) 過去5年間の曜日別火災発生件数

年 月	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	計
日	5	2	7	4	3	21
月	7	6	3	1	6	23
火	2	3	1	4	2	12
水	2	1	4	4	1	12
木	1	4	4	1	6	16
金	3	3	3	1	3	13
土	4	4	1		1	10
不明			1			1
計	24	23	24	15	22	108

(6) 過去5年間の時刻別火災発生件数

年 時刻	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	計
0～1		2				2
1～2	1					1
2～3					1	1
3～4	2	1			2	5
4～5		1				1
5～6	1	2		1		4
6～7						0
7～8	1			1	1	3
8～9	2			1		3
9～10			4	1	1	6
10～11	1	1	3	2		7
11～12	4	3	1			8
12～13	3	2	1		1	7
13～14	1	1	2	1	1	6
14～15	2	4	4	2	3	15
15～16	1		3		3	7
16～17	2	2	1	2	4	11
17～18	1		2	1	1	5
18～19			1	1		2
19～20		4	1	1		6
20～21	1				2	3
21～22	1					1
22～23						0
23～24					1	1
不明			1	1	1	3
計	24	23	24	15	22	108

(7) 火災発生時の気象状況

(H21年中)

気象状況		月												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
天 気	快 晴													0
	晴	1	1	1		2	2	1		5	2	1	1	17
	曇							2	1			1	1	5
	雨													0
	雪													0
	不明													0
風 速 m/s	無風状態													0
	1～2								1		1		2	4
	2～3			1				1		2				4
	3～4					1	1	1		2		1		6
	4～5		1			1					1	1		4
	5～6									1				1
	6～7						1	1						2
	7～8	1												1
	8～9													0
	9～10													0
不明													0	
風 向	北											1	1	2
	北北東													0
	北東									1			1	2
	東北東								1					1
	東									1				1
	東南東													0
	南東													0
	南南東													0
	南													0
	南南西								2					2
	南西					1				1	2			4
	西南西					1	1			2				4
	西		1				1							2
	西北西								1					1
北西			1										1	
北北西	1										1		2	
不明													0	
湿 度 %	10～20													0
	20～30									1				1
	30～40					1								1
	40～50	1	1								1			3
	50～60						1			3		1		5
	60～70					1	1				1	1	1	5
	70～80			1					1	1			1	4
	80～90								2					2
	90～100								1					1
	不明													0

3 いちき串木野市における大火記録

出火年月日	種別	対象物等	棟数	焼失面積	損害額 (千円)	原因	死傷者数
昭 29. 7. 12	建物	高等学校	1	587 m ²	6,362	不明	
30. 2. 12	〃	島平同時2箇所	21	820 m ²	5,322	不明	負傷 1
33. 6. 21	〃	映画館	8	872 m ²	8,798	フィルム引火	
34. 10. 21	〃	製材所	10	564 m ²	6,116	不明	
39. 12. 4	〃	造船所	7	1,752 m ²	25,401	不明	
41. 6. 16	〃	羽島浜大火	135	7,321 m ²	143,293	電気アイロン	
41. 12. 4	〃	曙町内店舗	13	1,116 m ²	33,065	たばこ	
42. 3. 25	〃	市役所	9	396 m ²	6,578	不明	負傷 3
44. 2. 22	〃	羽島萩元	6	375 m ²	8,160	不明	死者 1
45. 2. 4	林野	西岳		5.05ha	1,502	たばこ	負傷 1
48. 11. 25	〃	萬福		3ha	3,500	不明	
49. 3. 2	〃	深田		4.5ha	1,619	マッチ	
56. 5. 13	住宅	照島下	7	319 m ²	10,997	たばこ	死者 1
56. 12. 17	浴場	浦和町	5	377 m ²	16,809	風呂・かまど	
57. 10. 24	住宅	浦和町	8	213 m ²	17,686	天ぷら鍋	負傷 2
59. 8. 8	〃	須賀	5	347 m ²	9,295	不明	負傷 1
61. 12. 4	住宅	土川	6	406 m ²	12,122	風呂・かまど	負傷 1
平 1. 3. 21	工場	岡下造船鉄工	2	699 m ²	51,181	不明	
2. 3. 12	住宅	羽島浜田町	9	335 m ²	25,563	天ぷら鍋	
6. 6. 1	〃	春日町	5	240 m ²	27,931	不明	負傷 1
10. 2. 28	〃	北浜町	7	279 m ²	11,855	ストーブ	負傷 1
10. 12. 10	〃	住吉町	7	606 m ²	31,525	取灰	負傷 1
18. 1. 28	工場	薩洲濱田屋伝兵衛	1	830 m ²	58,576	照明器具	
21. 11. 15	住宅	羽島横須	6	444 m ²	52,620	電灯・電話等の配線	負傷 3

4 救急業務統計

(1) 救急業務の沿革

- S43. 2 救急車1台(ニッサン・セドリック)を購入し、救急業務を任意で開始
- S44. 9 消防法施行令の一部改正により本市の救急業務実施が義務化
- S44. 12 市来町、東市来町と救急業務応援協定を締結 S57. 9. 30 破棄 (S57. 10. 日置地区消防組合発足に伴い、破棄)
- S45. 4 川内市と救急業務相互応援協定を締結 (S56. 5. 破棄)
- S45. 5 薩摩郡里村、鹿島村、上甌村、下甌村、樋脇町と救急業務応援協定を締結
- S48. 2 S57. 3. 31. 破棄 (S56. 4. 川内地区消防組合発足に伴い、破棄)
- S48. 3 生命保険協会から救急車1台(ニッサン・シベリアン)の寄贈を受け救急車2台となる。
- S52. 9 日本消防協会から救急車1台(ニッサン・キャバンの)の寄贈を受く。
- S52. 9 S43. 2. 購入の救急車(ニッサン・セドリック)を大隅曾於地区消防組合消防本部へ譲渡
- S56. 2 日本自動車工業会から救急車1台(ニッサン・キャバンのハイルフ)の寄贈を受く。
- S56. 2 S48. 3. 生命保険協会からの寄贈車を廃車
- S56. 5 川内地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結 (H17. 11. 破棄)
- S57. 10 日置地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結 (H17. 12. 破棄)
- H元. 2 救急車1台(トヨタ2000cc)を購入し、S52. 9. 日本消防協会からの寄贈車を廃車
- H2. 1 コーアガス鹿児島(株)から救急車1台(トヨタ2000cc)の寄贈を受く。
- H2. 3 S56. 2. 日本自動車工業会からの寄贈車を運搬車に改造し、照島分団別府班に配置替え。(H7. 2. 廃車)
- H9. 4 救急救命士第1号誕生
- H10. 4 救急救命士2名となる。
- H11. 4 救急救命士3名となる。
- H12. 3 串木野市医師会と「救急救命士に対する医師の指示に関する協定」を締結
- H12. 4 救急救命士4名となる。
- H12. 11 高規格救急自動車(ニッサン・パラメディック3300cc)及び高度救命処置用資器材を購入
- H13. 1 高規格救急自動車等による高度救急業務を開始
- H13. 2 救急車1台(H元. 2)を廃車
- H13. 4 救急救命士5名となる。
- H13. 12 救急車1台(トヨタ3400cc)を購入し、H2. 1. コーアガス鹿児島(株)からの寄贈車を廃車
- H14. 4 救急救命士6名となる。
- H15. 4 救急救命士7名となる。
- H16. 4 救急救命士8名となる。
- H17. 3 国土交通省鹿児島国道事務所等と「南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定」を締結
- H17. 10 国分地区消防組合から救急車1台(トヨタ2400cc)を譲り受ける。
- H17. 10 市来町との合併に伴い、現有救急車1台(トヨタ3400cc)をいちき分遣所に配置
- H17. 11 薩摩川内市と「消防及び救急業務相互応援協定」を締結
- H17. 12 鹿児島市消防局及び日置市消防本部との「南九州西回り自動車道における消防相互応援協定」を締結
- H17. 12 日置市と「消防・救急業務相互応援協定」を締結
- H18. 12 高規格救急自動車1台(ニッサン・パラメディック3500cc)を購入し、いちき分遣所に配置
- H18. 12 H17. 10国分地区消防組合(現霧島市消防局)から譲り受けた救急車を廃車
- H20. 5 救急救命士9名となる。

(2) 救急業務取扱状況

(H21年中)

事故種別 区分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他	
出場件数		2			80	10	7	156	7	20	574	372			32	1260
不搬送件数					11			9		7	42				5	74
搬送人員		2			81	10	7	147	7	13	534	372			28	1201
性別	男	2			49	9	6	69	3	10	257	197			10	612
	女				32	1	1	78	4	3	277	175			18	589

(3) 傷病程度別搬送状況

(H21年中)

事故種別 傷病程度	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死 亡							2		3	14	1	20
重 症	1			9	3		33		2	66	129	243
中 等 症	1			19	6	2	55	2	5	285	226	601
軽 症				53	1	5	57	5	3	169	44	337
そ の 他												
計	2			81	10	7	147	7	13	534	400	1201

(4) 診療科目別搬送状況 (H21年中)

診療科目	搬送人員
内科一般	42
循環器科	122
消化器科	144
呼吸器科	89
神経内科	29
小児科	41
新生物	14
外科一般	33
整形外科	185
形成外科	3
脳神経外科	280
脳卒中	195
頭部外傷	85
泌尿器科	35
皮膚科	4
熱傷	2
その他	2
産婦人科	9
耳鼻咽喉科	5
眼科	1
精神科	4
服毒・中毒	18
その他	143
合計	1201

(5) 搬送別状況 (H21年中)

搬送種別	搬送人員
条理搬送	449
依頼搬送	752
合計	1,201

(6) 覚知別出場状況 (H21年中)

覚知別	出場件数
専用(119)	735
加入電話	490
庁内電話	1
駆け込み	15
消防無線	10
その他	9
合計	1,260

(7) 居住地別搬送状況 (H21年中)

居住地別	搬送人員
市内居住者	1,000
市外居住者	201
その他	0
合計	1,201

(8) 救急救命処置実施状況 (H21年中)

救急救命処置	男性	女性
気道確保	7	1
静脈路確保	5	1
薬剤投与	1	1
除細動	6	1
合計	19	4

(9) 月別救急出場状況及び搬送人員の状況

(H21年中)

月別	事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他		
1	件数				4			21			53	30			2	110	7
	人員				4			20			48	30			3	105	
2	件数				6	1	1	10	1	2	39	35			2	97	4
	人員				6	1	1	9	1		38	35			2	93	
3	件数				6		1	10		1	70	35			4	127	12
	人員				5		1	9			63	35			4	117	
4	件数				8			15		3	32	23			2	83	5
	人員				8			15		2	31	23				79	
5	件数							7	2	2	36	18			3	68	2
	人員							6	2	2	35	18			3	66	
6	件数				7			13		2	43	33			2	100	5
	人員				6			12		2	40	33			2	95	
7	件数	1			4		1	8	1	1	54	39			2	111	4
	人員	1			4		1	8	1	1	51	39			1	107	
8	件数				12	2	4	10		1	50	35			3	117	8
	人員				14	2	4	9			47	35			3	114	
9	件数				6	2		18	2	2	51	32			4	117	7
	人員				6	2		16	2	2	47	32			4	111	
10	件数				10	1		15		3	46	33			2	110	9
	人員				11	1		15		1	40	33			2	103	
11	件数				8	1		13		2	49	33			4	110	5
	人員				8	1		13		2	45	33			3	105	
12	件数	1			9	3		16	1	1	51	26			2	110	6
	人員	1			9	3		15	1	1	49	26			1	106	
合計	出場数	2			80	10	7	156	7	20	574	372			32	1,260	74
	搬送員	2			81	10	7	147	7	13	534	372			28	1,201	

(10) 曜日別救急出場状況

(H21年中)

曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他の	
日				12	1	2	29	2	3	82	25			5	161
月				13	3		20	1	7	99	70			5	218
火				11	1	2	21		1	74	58			4	172
水				14	1		28			85	56			8	192
木	1			9			26	2	3	74	52			4	171
金	1			17	1	1	14		3	78	71			2	188
土				4	3	2	18	2	3	82	40			4	158
合計	2			80	10	7	156	7	20	574	372			32	1,260

(11) 現場到着所要時間別出場件数

(H21年中)

現場到着 事故種別	現場到着所要時間					計	現場到着平均 所要時間(分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	122	230	146	69	7	574	5.1
交通事故	20	26	30	4		80	4.5
一般負傷	39	56	48	11	2	156	4.8
その他	77	227	136	10		450	4.1
合計	258	539	360	94	9	1,260	4.6

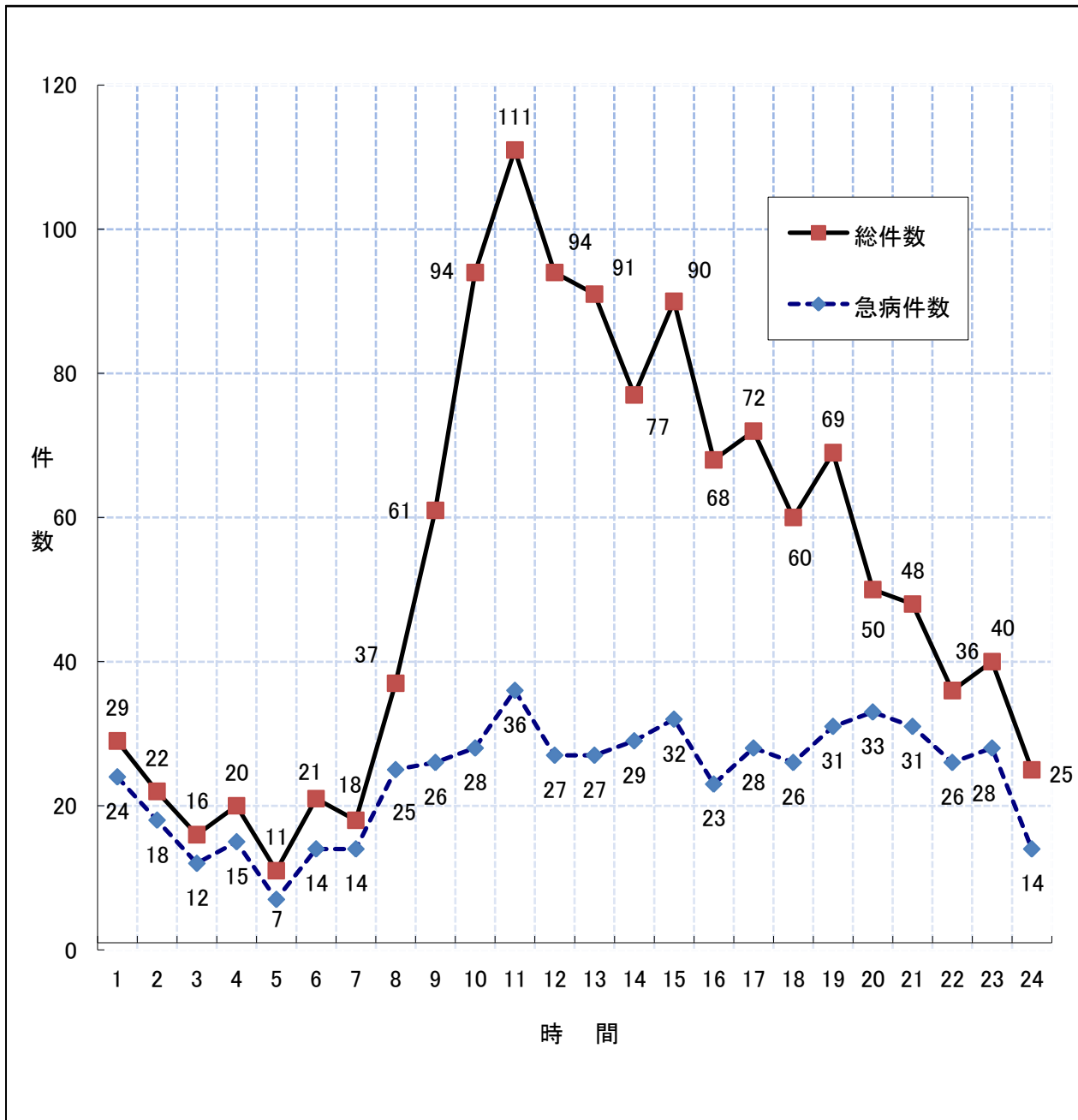
(12) 収容所要時間別搬送人員

(H21年中)

収容所要時間 事故種別	収容所要時間					計	収容平均 所要時間(分)
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上		
急病	6	162	211	142	13	534	26.6
交通事故		25	35	20	1	81	24.7
一般負傷	2	51	62	29	3	147	24.5
その他	4	139	92	198	6	439	29.8
合計	12	377	400	389	23	1,201	26.4

(13) 時間別出場状況 (総件数及び急病件数)

(H 2 1 年中)

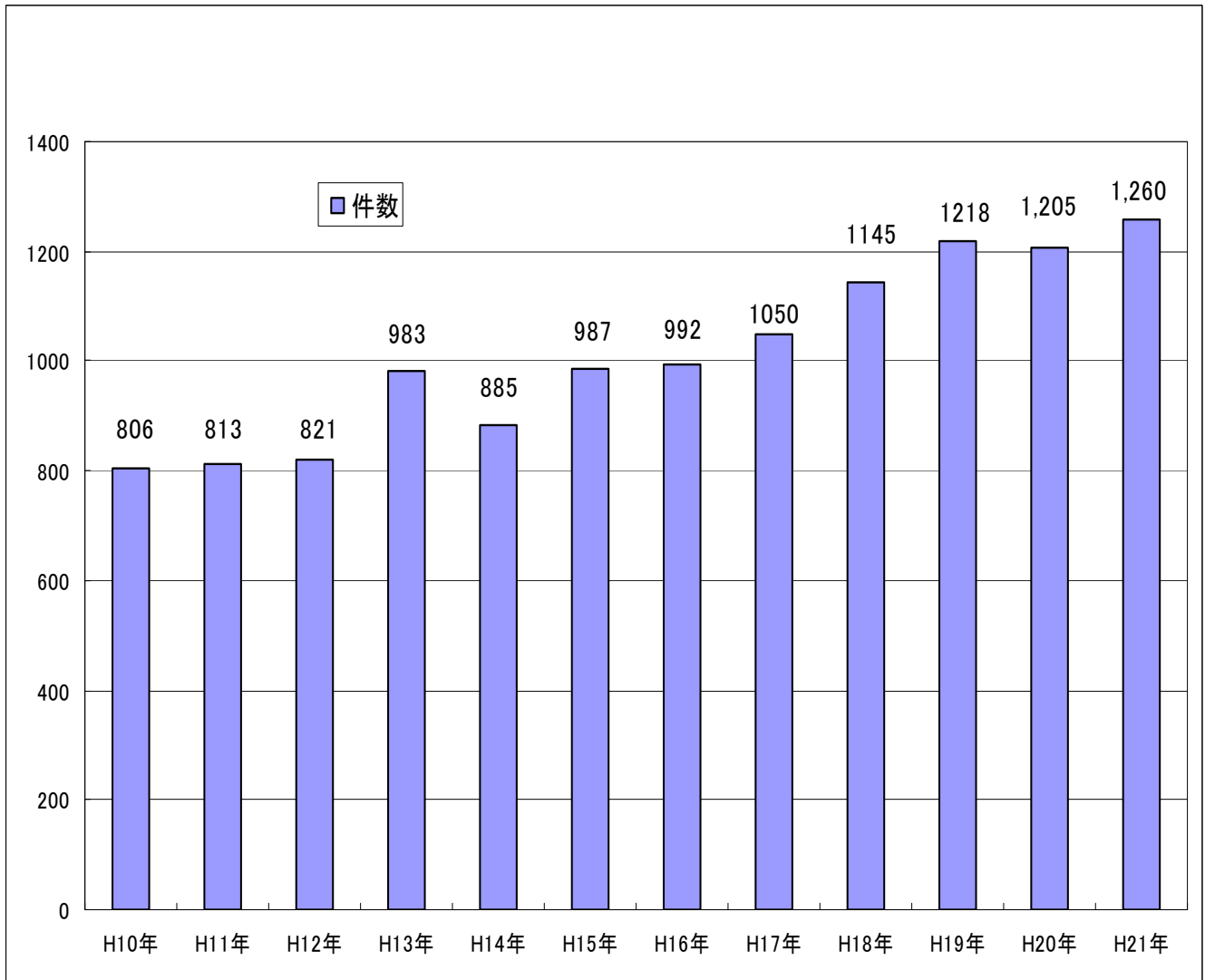


(14) 市別搬送状況 (搬送先)

(H 2 1 年中)

搬送先 区分	いちき串木野市	鹿児島市	薩摩川内市	日置市	その他	計
搬送人員	838	159	141	60	3	1,201
比率 (%)	69.77	13.24	11.74	5.00	0.25	100

(15) 救急出場件数の推移



(16) 過去5年間の救急出場状況

年別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
平成17年		1		1	69	5	5	105	4	15	460	307			33	1,005
					8	2		8		1	21	5				45
平成18年				5	92	8	7	121	3	7	559	305			38	1,145
平成19年		1		4	99	12	14	132	1	15	591	317			32	1,218
平成20年			1	1	96	10	5	146	1	9	551	355			30	1,205
平成21年		2			80	10	7	156	7	20	574	372			32	1,260

平成17年の下段は、市来地域分

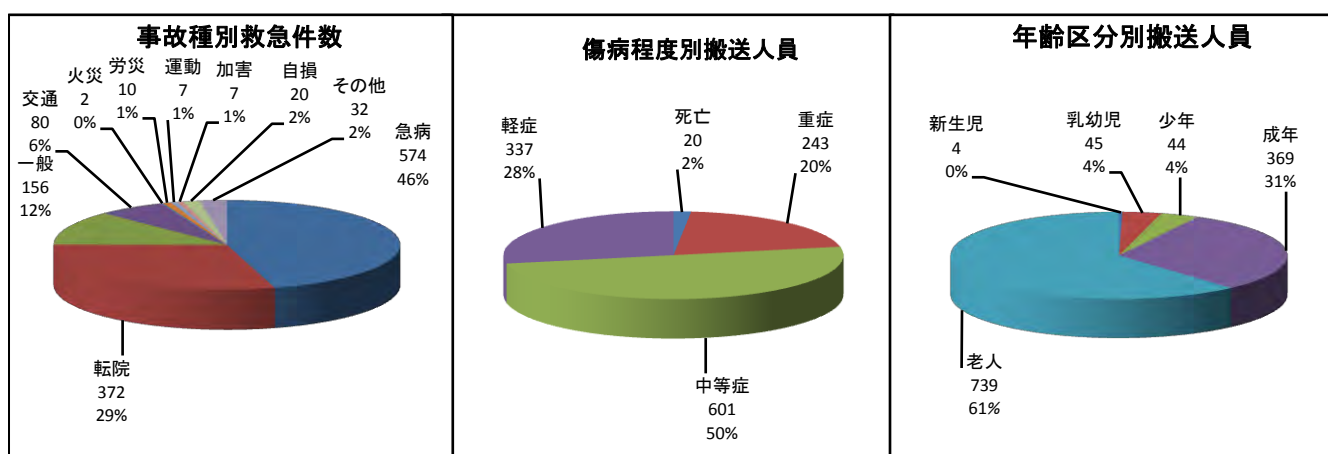
(17) 年齢別搬送人員状況

(H 2 1 年中)

年齢別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
0～9					5			6			36	8			1	56
10～19					7		7	8		1	20	9				52
20～29					11	1			3	2	24	9				50
30～39					13	4		5	1	3	22	12				60
40～49					5	1		5		1	28	6			2	48
50～59					9	3		10	1	4	53	36				116
60～69		1			10	1		12	1		82	55			2	164
70～79					13			31	1	2	105	107			7	266
80～89		1			8			56			124	103			10	302
90～								14			40	27			6	87
計		2	0	0	81	10	7	147	7	13	534	372	0	0	28	1,201

(18) 各比率

(H 2 1 年中)



※ 救急出場件数 1,260件
 ※ 搬送人員 1,201人

※ 年齢区分
 新生児 (生後28日以内)
 乳幼児 (29日以上7歳未)
 少年 (7歳以上18歳未)
 成人 (18歳以上65歳満)
 老人 (65歳以上)

5 救助業務統計

(1) 救助出動状況

(H21年中)

	月日	事故種別	災害発生場所	出動車両	出動人員	活動車両	活動人員	救助人員
1	1/24	交通事故	いちき串木野市荒川 占串線	2	6			
2	2/3	その他	ブラッセだいわ串木野 駅前店	3	8			
3	3/8	交通事故	芹ヶ野自動車付近国道3号線上	3	8	3	8	1
4	3/9	交通事故	八房踏切北側約100mのJR鹿児島本線線路内	3	9			
5	7/16	交通事故	市道五反田川線橋之口商店東側	2	6			
6	10/11	その他	東海大橋(五反田川河口)	3	8	3	8	1
7	10/27	交通事故	いちき串木野市大里(市道山手線)	2	6			
8	11/2	交通事故	南九州西回り自動車道上	6	17	6	17	2
9	11/18	交通事故	県道川内串木野線 大洋紙器(有)西側路上	2	6			
10	12/22	その他	濱田酒造北東側路上	2	6	2	6	
合 計				28	80	14	39	4

(2) 過去5年間の救助出動状況

区分		年				
		平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
出動件数		14	9	13	12	10
活動件数		9	4	8	8	4
救助人員		11	4	12	12	4
事故種別	火災					
	交通事故	11	7	8	10	7
	水難事故	2		3	2	
	自然災害					
	機械		1			
	建物					
	ガス・酸欠					
	爆発					
その他		1	1	2		3

6 応援協定等の締結状況

(H22.4.1 現在)

締結年月日	協 定 先 名	協 定 の 種 類
S36.9.25	いちき串木野警察署	災害救助に関する協定
S45.6.15	串木野海上保安部	船舶火災の消火に関する業務協定 H6.8.19 一部改正
S59.4.1	指宿地区消防組合	消防無線使用時の混信に関する協定
H9.9.24	日本地下石油備蓄(株)串木野事業所	串木野市と日本地下石油備蓄(株)串木野事業所との応援協定
H10.4.1	薩摩川内市消防局	携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定
H10.6.26	県内各市町村及び各消防本部	鹿児島県消防・防災ヘリコプター応援協定
H12.3.1	いちき串木野市医師会	救急救命士に対する医師の指示に関する協定
H17.11.18	薩摩川内市	消防及び救急業務相互応援協定
H17.12.12	日置市	消防・救急業務相互応援協定
H18.10.25	県内市町村及び消防の一部事務組合	鹿児島県消防相互応援協定
H19.3.1	国土交通省鹿児島国道事務所 県警察本部交通部高速道路交通警察隊 薩摩川内市消防局	南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定
H19.3.2	鹿児島市 日置市 薩摩川内市	南九州西回り自動車道における消防相互応援協定

V 機 械 ・ 水 利

消 防 車 両	消防本部（署）・・・・・・・・・・	15 台
	消防団・・・・・・・・・・	19 台
消 火 栓	・・・・・・・・・・・・・・・・	5 3 4 基
防 火 水 槽	・・・・・・・・・・・・・・・・	2 9 5 基
消 防 無 線	基 地 局 ・・・・・・・・・・	2 基
	固 定 局 ・・・・・・・・・・	2 基
	陸上移動局（車載）・・・・・・・・	3 2 基
	陸上移動局（携帯）・・・・・・・・	4 0 基

1 基準消防力と現有消防力との比較

(1) 消防本部（署）

(H22.4.1現在)

種 別 \ 区 分	基 準	現 有	充足率 (%)	過・不足 (▲)
署所の数	2	2	100	0
人員	90	48	53.3	▲ 42
消防ポンプ車	3	3	100	0
はしご車	1	1	100	0
化学車	1	1	100	0
救急車	2	2	100	0
救助工作車	1	1	100	0
非常用消防自動車	1	1	100	0
非常用救急自動車	1	1	100	0

(2) 消防団

(H22.4.1現在)

種 別 \ 区 分		基 準	現 有	充足率 (%)	過・不足 (▲)
市街地	動力消防ポンプ	8 口	消防ポンプ車 3 台 6 口	112.5	1 口
			小型動力ポンプ 3 台 3 口		
準市街地	動力消防ポンプ	20 口	消防ポンプ車 5 台 10 口	80	▲ 4 口
			小型動力ポンプ 6 台 6 口		
その他	動力消防ポンプ	13 口	消防ポンプ車 4 台 8 口	100	0 口
			小型動力ポンプ 5 台 5 口		
人 員		548 人	277 人	50.5	▲ 271 人

(3) 消防職・団員と市民との割合

(H22.4.1現在)

種 別 \ 区 分	消 防 職 員 (1 人 当 り)	消 防 団 員 (1 人 当 り)
世 帯 (13,457)	280.4	48.6
人 口 (31,158)	649.1	112.5

2 消防機械器具及び水利状況

(1) 消防署の消防車両状況

(H22.4.1現在)

種 別	車 種	車 名	車両番号	登録年月日	ポンプ性能	排気量	定 員	総重量	長 さ	幅	高 さ	備 考
					(l/分)	(cc)	(人)	(kg)	(cm)	(cm)	(cm)	
水槽付消防ポンプ自動車	日 野	署 タ ン ク 車	鹿児島88 す 4231	H5.11	A-2森田	7,410	6	7,590	700	220	270	ディーゼル車
水槽付消防ポンプ自動車	日 野	いちきタンク車	鹿児島88 す 4843	H6.7.15	A-1吉谷	7,410	6	7,940	683	222	270	ディーゼル車 寄贈車
消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	い な ず ま 号	鹿児島88 す 7312	H8.12.26	A-2日本造機 2,310	4,560	6	4,140	529	188	241	ディーゼル車
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	銀 河 号	鹿児島800 さ 9964	H19.3.23	A-2森田	4,000	6	5,370	575	189	280	ディーゼル車 石油交付金事業
梯子付消防自動車	日 野	は し ご 車	鹿児島88 ゆ 754	H2.10.16		7,410	6	12,660	995	249	340	ディーゼル車
化学消防自動車	三 菱	化 学 車	鹿児島88 ゆ 1343	H4.12.18	A-2日機 1,600	16,030	7	14,925	830	249	296	ディーゼル車
救 助 工 作 車	ニッサン ディーゼル	火 災 保 険 号	鹿児島88 ゆ 2150	H8.7.29		6,920	6	8,080	758	225	305	ディーゼル車 寄贈車
指 揮 広 報 車	ニッサン	さ の さ 号	鹿児島88 に 3465	H9.10.28		1,990	8	1,980	435	169	199	ガソリン車 寄贈車
高 規 格 救 急 車	ニッサン	救 急 1 号 車	鹿児島800 さ 2323	H12.11.16		3,270	7	3,325	572	190	248	ガソリン車 石油交付金事業
救 急 車	トヨタ	救 急 2 号 車	鹿児島800 さ 3794	H13.12.6		3,370	7	2,705	544	180	242	ガソリン車
高 規 格 救 急 車	ニッサン	救急いちき1号車	鹿児島800 さ 9643	H18.12.14		3,490	7	3,275	575	190	246	ガソリン車 石油交付金事業
軽 積 載 車	スバル	連 絡 車	鹿児島41 ゆ 8772	H10.8.27		650	2	970	329	139	151	ガソリン車 防災用交付車両
運 搬 車	ホンダ	運 搬 車	鹿児島80 あ 1331	H13.3.29		650	2	1,440	339	147	193	ガソリン車 (県)貸与品原子力 防災資機材
軽 積 載 車	ニッサン	防 災 活 動 車	鹿児島880 あ 743	H22.1.28		650	2(4)	1460	339	147	195	ガソリン車 寄贈車
軽 積 載 車	三 菱	いちきミニ車	鹿児島80 あ 1277	H12.9.13	B-3小型動力 ポンプを積載	650	2	1150	339	147	197	ガソリン車

2 消防機械器具及び水利状況

(2) 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況 ア 串木野地域

(H22.4.1現在)

分団名	種 別	車 種	車 名	車 両 番 号	登 録 年 月 日	ポ ン プ 性 能	排 気 量	定 員	総 重 量	長 さ	幅	高 さ	備 考
						(ℓ/分)	(cc)	(人)	(kg)	(cm)	(cm)	(cm)	
団本部	指 揮 連 絡 車	ト ヨ タ	団 本 部 車	鹿 児 島 88 す 6457	H8.3.18		2,180	8	2,060	469	169	210	ディーゼル車
中央	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	た つ ま き 号	鹿 児 島 800 さ 8954	H18.3.20	A-2 モ リ タ	4,001	10	4,530	571	188	246	ディーゼル車 石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	い す ず	す い せ い 号	鹿 児 島 88 す 3250	H4.8.26		2,490	8	2,540	445	172	250	ディーゼル車 防災用交付車両
	小 型 動 力 ポ ン プ				H19.11.30	B-3 ト ー ハ ッ 1,130	526						石油交付金事業
本浦	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	あ さ か ぜ 号	鹿 児 島 88 す 3357	H4.10.13	A-2 日 機 2,310	4,210	10	4,070	522	189	245	ディーゼル車
	小 型 動 力 ポ ン プ				H17.3.17	B-3(ラビット) 1,400	635						石油交付金事業
照島	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	照 月 号	鹿 児 島 800 さ 8956	H18.3.20	A-2 モ リ タ	4,001	10	4,530	567	188	246	ディーゼル車 石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	ト ヨ タ	く ろ せ 号	鹿 児 島 88 す 5286	H6.12.16		1,990	9	2,665	499	167	250	ガソリン車
	小 型 動 力 ポ ン プ				H17.3.17	B-3(ラビット) 1,400	635						石油交付金事業
羽島	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	さ ち か ぜ 号	鹿 児 島 88 す 2885	H4.3.17	A-2 日 機 2,300	4,210	10	4,140	525	189	250	ディーゼル車
	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	三 菱	積 載 車	鹿 児 島 800 さ 2254	H12.10.25		1,990	9	2,735	499	169	242	ガソリン車 石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ				H12.10.25	B-3 ト ー ハ ッ 1,420	617						石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	ニ ッ サ ン	あ こ う 号	鹿 児 島 800 す 745	H20.2.20		1,990	9	2,975	497	178	232	ガソリン車 石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ				H20.2.20	B-3 ト ー ハ ッ 1,130	526						石油交付金事業
荒川	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ニ ッ サ ン	荒 星 号	鹿 児 島 88 す 1838	H2.10.26	A-2 日 機 2,310	4,160	7	3,385	538	181	220	ガソリン車
	小 型 動 力 ポ ン プ				H13.12.18	B-3(シハウラ) 1,440	618						石油交付金事業
旭	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ニ ッ サ ン	こ が ね 号	鹿 児 島 800 す 2272	H22.3.4	A-2 日 機	4,000	10	4,500	573	188	242	ディーゼル車 石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ				H13.12.18	B-3(シハウラ) 1,440	618						石油交付金事業
生福	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	生 龍 号	鹿 児 島 88 す 7166	H8.11.22	A-2 日 機 2,370	4,560	10	4,220	524	189	241	ディーゼル車
	小 型 動 力 ポ ン プ				H17.3.17	B-3(ラビット) 1,400	635						石油交付金事業
冠岳	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ニ ッ サ ン	や ま び こ 号	鹿 児 島 88 す 1090	H元.9.27	A-2 日 機 2,340	4,160	7	3,455	536	181	234	ガソリン車
	小 型 動 力 ポ ン プ				H13.12.18	B-3(シハウラ) 1,440	618						石油交付金事業

イ 市来地域

(H22.4.1現在)

分団名	種 別	車 種	車 名	車両番号	登録年月日	ポンプ性能 (ℓ/分)	排気量 (cc)	定員 (人)	総重量 (kg)	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備 考
湊	消防ポンプ自動車	いすゞ	飛 竜	鹿児島88 す 8413	H 9.11.28	A-2 森田	4,570	7	3,945	549	190	247	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H17.3.3	B-3(ト-ハツ) 1420	617						石油交付金事業
川南	消防ポンプ自動車	日 野	蒼 竜	鹿児島800 す 779	H20.2.28	A-2 GMいちほら	4,000	10	4,560	572	188	256	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				H15.10.10	B-3(ト-ハツ) 1,440	617						石油交付金事業
川北	消防ポンプ自動車	いすゞ	海 竜	鹿児島88 す 8414	H 9.11.28	A-2 森田	4,570	7	3,945	549	190	247	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H17.3.3	B-3(ト-ハツ) 1420	617						石油交付金事業
川上	消防ポンプ自動車	日 野	昇 竜	鹿児島800 す 1382	H21.1.16	A-2 吉谷	4,000	10	4,730	588	188	252	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				H15.10.10	B-3(ト-ハツ) 1,440	617						石油交付金事業
市来支所	連 絡 車	トヨタ		鹿児島88 に 2766	H 7.12.21		1,990	5	1,755	464	169	169	ガソリン車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ 積 載 車	トヨタ	やまびこ	鹿児島88 す 4133	H 5.10.5		2,440	8	2,880	474	169	244	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H10.12.14	B-3(ラビット) 1,440	635						

(3) 署・各分団ポンプ及びホースの保有状況

(H22. 4. 1現在)

区分 署・団	ポンプ台数		ホース本数			
	ポンプ車	小型ポンプ	40mm	50mm	65mm	小計
消防署	3		24	86	86	196
分遣所	1	1	6	34	50	90
団本部					13	13
中央	1	1	2	16	63	81
本浦	1	1	2	24	53	79
照島	1		2	26	62	90
照島 (別府班)		1				
羽島	1	1	7	17	64	88
羽島 (土川班)		1				
荒川	1	1	2	16	58	76
旭	1	1	2	26	62	90
生福	1	1	2	23	42	67
冠岳	1	1	2	17	43	62
湊	1	1	0	0	64	64
川南	1	1	0	0	63	63
川北	1	1	0	0	50	50
川上	1	1	0	0	57	57
市来支所		1	0	0	33	33
合計	16	15	51	285	863	1199

(4) 消防資機材の保有状況

(H22.4.1 現在)

種別	車両等別								種別	車両等別									
	化学車	はしご車	救助工作車	タンク車	いなずま号	銀河号	資材庫	いちき分遣所		化学車	はしご車	救助工作車	タンク車	いなずま号	銀河号	資材庫	いちき分遣所		
かぎ付はしご		1	1				2	1	5	ハンマードリル			1					1	
三連はしご(二連)			1	1	(1)	(1)	2(1)	1	5(3)	送排風機			1					1	
金属製折畳みはしご			1					1	2	ジェットシューター						3	5	8	
空気式救助マット			1				1		2	造林がま			3	5	4		2	14	
救命索発射銃			1				1		2	帯電衣(上・下)		2						2	
サバイバースリング			2						2	帯電長靴		2					2	4	
救助用縛帯	2	2						1	5	帯電ヘルメット		2						2	
平担架							4		4	車載固定型発電機			1					1	
ポートパワー			1				1		2	車載伸縮式照明装置			1					1	
可搬式ウインチ			1				2	1	4	車載固定型ウインチ			1					1	
エンジンカッター	1	1	1					1	4	発電機	1	1	1			4	2	9	
ガス溶断器			1						1	投光器	1	2	1			1	2	7	
チェーンソー			1				10	2	13	掛矢			1	1	3	1	3	10	
鉄線カッター	1	1	1	1				1	5	斧	1	1			1	4	1	8	
万能斧(ベンケイ)			2				2	1	5	スコップ	1	1	2	3	2	2	12	9	32
ハンマー	1	1	1				1	1	5	分岐金具(65×65)	1	1		2	1	1		2	8
可燃性ガス・酸素測定器			2					1	3	分岐金具(65×40)			1	1				2	
空気呼吸器	4	4	4	4	4	3	4	7	34	放水銃							1	1	
帯電手袋		2	3				2	1	8	プロジェクトガン(40m/m用)				2	3			1	6
安全帯		3	9					2	14	ロータリーノズル				1				1	2
耐熱服	4								4	ビックアップノズル(2000型)				1		1	1	2	5
潜水器具一式			2				4		6	エアフォームノズル(4000型)	4							4	
救命胴衣			9				11	3	23	泡放水銃(8000型)	2							2	
救命浮環			5				3	2	10	ラインプロポーションナー				1				1	2
ゴムボート									0	ノズル付高圧ホース(30m)	2							2	
バスケット担架			2					1	3	東消式簡易発泡器				1				1	2
携帯拡声器		1	1	1			10	2	15	ウォーターチャージャー				1				1	
マット型空気ジャッキ一式			1						1	ABC粉末(20型)消火器	2		1	2	1	1		2	9
大型油圧スプレッダー			1					1	2	防水シート	1	1	1		2	1	69	2	77
大型油圧切断機			1					1	2	オイルフェンス(A型)140m							1	1	
鉄筋カッター(ロードレス)			1						1	水中無線機			2					2	
空気鋸			1					1	2	防毒マスク			3			3		6	
大型油圧器具 (プランジャーラム)			1						1	な た			1	2	3		3	2	11

(5) 消火薬剤等の保有状況

(H22.4.1 現在)

合成界面活性剤（プロフォーム）	700 ℓ	
たんぱく泡（エアフォーム3%・6%）	2,760 ℓ	
油 吸 着	吸 着 マ ッ ト	492 枚
吸 収 材 等	吸 着 （ 収 ） 材	50.5 kg
流 出 油 処 理 剤	108 ℓ	
オイルフェンス（S0-200E）	140 m	

(6) 原子力防災資機材の保有状況

(H22.4.1 現在)

空気呼吸器（予備ボンベ付）	26 基	
ポケット線量計	アラーム機能なし	20 個
	アラーム機能あり	52 個
防 護 マ ス ク	325 個 (フィルター512個)	
防 護 服	アノラック型	250 着
	タイベック型	250 着
防 護 靴	オーバーシューズ	230 足
防 護 手 袋	ゴ ム 製	250 双
	綿 製	250 双
携 帯 用 拡 声 器	5 基	
消 防 用 無 線 機	車 載 型 10W	9 基
	携 帯 型 5W	6 基
ト ラ ン シ ー バ ー	4 基	
サーベイメータ（ポケット型含む。）	6 基	
夜 間 災 害 用 発 電 機 一 式	5 組	
資 機 材 運 搬 用 車 両	1 台	
パ ソ コ ン	2 台	
レ ー ザ ー プ リ ン タ ー	1 台	
脚 付 き 両 開 き ボ ー ド	1 台	
マ ル チ プ ロ ジ ェ ク タ	1 台	
エ ア ー テ ン ト	1 式	
化 学 防 護 服	4 着	
衛 星 携 帯 電 話	1 基	
簡 易 放 送 用 設 備	1 式	
空気呼吸器拡声器（充電器含む。）	6 基	
デ ジ タ ル カ メ ラ	3 基	
ワ イ ヤ レ ス メ ガ ホ ン	1 式	
エ ア ー 膨 張 式 投 光 装 置	1 式	

(7) 消防水利の状況 (消防水利の基準に適合しないものも含む。)

ア 串木野地域

(H22.4.1現在)

水利の別	地区別 配管及び水量	中	本	照	羽	荒	旭	生	冠	合	
		央	浦	島	島	川		福	岳	計	
消 火 栓 (公 設)	350mm	1		1						2	
	300mm	7		2						9	
	250mm	7	1	1						9	
	200mm	8	9	4	1				4	26	
	150mm	39	18	20	8	4		5	3	97	
	100mm	55	9	21	11	3	4	15	2	120	
	75mm	24	7	13	18	5	11	5	3	86	
小 計 A		141	44	62	38	12	15	25	12	349	
防 火 水 槽 (公 設)	40m ³ 以上	16	4	16	7	6	3	9	5	66	
	30m ³ 以上 40m ³ 未満	43	6	18	17	6	10	14	6	120	
	20m ³ 以上 30m ³ 未満	2	1	3	1		2		3	12	
	20m ³ 未満	5	1		2					8	
	(私 設)	40m ³ 以上	1		1						2
	小 計 B		67	12	38	27	12	15	23	14	208
プール	40 m ³ 以上	3		3	2	1	1	1	1	12	
河 川	常時取水可能	7	1	3	2	3	1	4	2	23	
海 水	常時取水可能		4	1	1					6	
小 計 C		10	5	7	5	4	2	5	3	41	
総 計 A+B+C		218	61	107	70	28	32	53	29	598	

イ 市来地域

(H22. 4. 1現在)

水利の別		地区別 配管及び水量	湊	川 南	川 北	川 上	合 計
消 火 栓 (公 設)	200mm	14	0	0	0	14	
	150mm	6	7	5	0	18	
	125mm	1	0	0	0	1	
	100mm	21	13	19	10	63	
	75mm	19	15	10	15	59	
	65mm以下	3	5	14	8	30	
小 計 A		64	40	48	33	185	
防 火 水 槽 (公 設)	40m ³ 以上	22	15	19	21	77	
	30m ³ 以上	1	1	1	0	3	
	40m ³ 未満						
	20m ³ 以上	0	0	5	0	5	
	30m ³ 未満						
(私 設)	40m ³ 以上			2		2	
小 計 B		23	16	27	21	87	
プー ル	40 m ³ 以 上	1	2		1	4	
河 川	常時取水可能	5		3	2	10	
海 水	常時取水可能						
小 計 C		6	2	3	3	14	
総 計 A+B+C		93	58	78	57	286	

(8) 消防無線の状況

ア 消防本部

(H22.4.1現在)

局別	数	形式	電力	周波数	呼称	設置場所	購入年月	経過年数	会社名	再免年月	備考
基地局	2		10W	① 市波 149.15MHz	消串	消防本部	H6.7	14年	日本無線	H23.5	
				② 県波 148.21MHz							
固定局	2		1W	① 市波	消小ヶ倉	羽島小ヶ倉	H8.1	13年	日本無線	H23.5	
				○ 中継波 365.15MHz	消串本部	消防本部	H8.1	13年	日本無線	H24.11	
移動局(車載)	15	F3	10W	① 市波	消串6	化学車	H6.12	14年	日本無線	H23.5	
				② 県波	消串9	積載車	H元.2	20年	日本無線	H23.5	
				① 市波	消串1	署タンク車	H19.2	2年	アイコム	H23.5	貸与品(県)原子力防災資器材
					消串2	いなづま号	H11.2	10年	日本無線	H23.5	
				② 県波	消串3	銀河号	H11.11	9年	日本無線	H23.5	
				消串4	さのさ号	H8.3	13年	日本無線	H23.5		
				③ 全国波1 150.73MHz	消串5	はしご車	H19.2	2年	アイコム	H23.5	
				④ 防災波 158.35MHz	消串7	火災保険号	H11.11	9年	日本無線	H23.5	貸与品(県)原子力防災資器材
					消串8	防災活動車	H11.11	9年	日本無線	H23.5	
					救串2	救急2号車	H8.3	13年	日本無線	H23.5	
				①市波 ②県波	消串10	運搬車	H14.3	7年	NEC	H23.5	
				③全国波1、2、3 ④防災波	救串1	救急1号車	H12.11	8年	日本無線	H23.5	
				①市波 ②県波	消い1	いちきタンク車	H6.7	14年	ゼネラル通信システム	H27.5	
				③全国波1、2、3	消い2	いちきミニ車	H12.10	8年	ゼネラル通信システム	H27.5	
					救い1	いちき救急車	H18.12	2年	日本無線	H23.5	
移動局(携帯)	22	F3	1W	① 市波 ② 県波	消串12	いなづま号	H8.10	12年	日本無線	H23.5	
				① 市波 ② 県波 ③ 全国波1 ④ 防災波	消串11	あかつき号	H19.2	2年	アイコム	H23.5	
			消串13		銀河号	H19.2	2年	アイコム	H23.5		
			消串14		さのさ号	H19.2	2年	アイコム	H23.5		
			消串15		はしご車	H19.2	2年	アイコム	H23.5		
			消串16		化学車	H19.2	2年	アイコム	H23.5		
			消串17		火災保険号	H18.2	3年	スタンダード	H23.5	貸与品(県)原子力防災資器材	
			消串18		通信室	H18.2	3年	スタンダード	H23.5		
			消串19		通信室	H18.2	3年	スタンダード	H23.5		
			消串20		通信室	H19.2	2年	アイコム	H23.5		
			消串21		通信室	H19.2	2年	アイコム	H23.5		
			消串22		通信室	H19.2	2年	アイコム	H23.5		
			消串23		救急1号車	H19.2	2年	アイコム	H23.5		
			消串24		救急2号車	H19.2	2年	アイコム	H23.5		
			消串25		通信室	H19.2	2年	アイコム	H23.5		
			消串26		通信室	H18.2	3年	スタンダード	H23.5	貸与品(県)原子力防災資器材	
			消串27	通信室	H17.1	4年	アイコム	H23.5			
消串28	通信室	H17.1	4年	アイコム	H23.5						
消串29	分遣所	H17.12	3年	アイコム	H23.5						
消串30	分遣所	H17.12	3年	アイコム	H23.5						
消串31	分遣所	H17.12	3年	アイコム	H23.5						
消串32	分遣所	H17.12	3年	アイコム	H23.5						

イ 消防団

(H22.4.1現在)

局別	数	形式	電力	周波数	呼称	設置場所	購入年月	経過年数	会社名	再免年月	備考			
移動局 (車載)	17	F3	10W	①市波 ②県波	消中3	中央分団 すいせい号	H9.3	12年	日本無線	H23.5				
					消照3	照島分団 くるせ号	H10.2	11年	日本無線	H23.5				
					消羽1	羽島分団 さちかぜ号	H10.2	11年	日本無線	H23.5				
					消土1	羽島分団 あこう号	H8.1	13年	日本無線	H23.5				
				①県波 ②市波 ③全国波 (1・2・3波)	消中1	中央分団 たつまき号	H18.3	3年	ゼネラル通信 システム	H23.5				
					消照1	照島分団 照月号	H18.3	3年	ゼネラル通信 システム	H23.5				
				①市波 ②県波 ③全国波 (1・2・3) ④防災波	消団1	団本部車	H14.3	7年	NEC	H23.5	貸与品(県) 原子力防災 資器材			
					消旭1	旭分団 こがね号	H14.3	7年	NEC	H23.5				
					消湊1	湊分団 飛竜	H17.10	3年	日本無線	H23.5				
					消川南1	川南分団 蒼竜	H17.10	3年	日本無線	H23.5				
					消川北1	川北分団 海竜	H17.10	3年	日本無線	H23.5				
					消川上1	川上分団 昇竜	H17.10	3年	日本無線	H23.5				
					消市来支所1	市来支所分団 やまびこ	H17.10	3年	日本無線	H23.5				
				①市波 ②県波 ③全国波 ④防災波	消本1	本浦分団 あさかぜ号	H19.2	2年	アイコム	H23.5				
					消荒1	荒川分団 荒星号	H19.2	2年	アイコム	H23.5				
					消生1	生福分団 生龍号	H19.2	2年	アイコム	H23.5				
					消冠1	冠岳分団 やまびこ号	H19.2	2年	アイコム	H23.5				
				移動局 (携帯)	18	5W	①市波 ②県波 ③全国波 ④防災波	消団2	団本部	H16.6	4年	アイコム	H23.5	
								消団3	団本部	H16.6	4年	アイコム	H23.5	
								消羽2	羽島分団	H19.2	2年	アイコム	H23.5	
消荒2	荒川分団	H19.2	2年					アイコム	H23.5					
消旭2	旭分団	H19.2	2年					アイコム	H23.5					
消生2	生福分団	H19.2	2年					アイコム	H23.5					
消冠2	冠岳分団	H19.2	2年					アイコム	H23.5					
①市波 ②県波 ③全国波 (1・2・3) ④防災波	消団4	団本部	H14.6				6年	モトローラ	H23.5					
	消団5	団本部	H17.10				3年	日本無線	H23.5					
	消団6	団本部	H17.10				3年	日本無線	H23.5					
	消中2	中央分団	H14.6				6年	モトローラ	H23.5					
	消本2	本浦分団	H14.6				6年	モトローラ	H23.5					
	消照2	照島分団	H14.6				6年	モトローラ	H23.5					
	消湊2	湊分団	H17.10				3年	日本無線	H23.5					
	消川南2	川南分団	H17.10				3年	日本無線	H23.5					
	消川北2	川北分団	H17.10				3年	日本無線	H23.5					
	消川上2	川上分団	H17.10				3年	日本無線	H23.5					
	消市来支所2	市来支所分団	H17.10				3年	日本無線	H23.5					
	種別	火災救護その他												
通信回数	147	7,735	15,373	23,255										

VI 気 象

年平均気温	18.3°C
-------	-------	--------

年間降水量	1,447.5mm
-------	-------	-----------

年平均風速	2.8m/s
-------	-------	--------

1 気象観測の状況

(H21年中) 【観測所：消防署】

月 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
快晴日数	2	0	4	10	3	0	2	1	4	2	2	2	32	
晴天日数	7	14	9	11	16	10	15	22	18	15	13	8	158	
曇天日数	18	8	12	7	12	16	8	7	8	9	10	13	128	
雨天日数	3	6	6	2	0	4	6	1	0	5	5	8	46	
雪日数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
降水日数	12	15	16	8	8	9	12	5	5	7	13	15	125	
降水量	102.5	221.5	205.0	103.5	37.5	194.5	106.5	30.5	70.0	74.5	203.5	98.0	1447.5	
最大日降水量	8.0	46.0	76.0	33.5	16.5	76.0	38.0	11.0	37.5	21.5	84.0	24.5	最大/日 84.0	
風速	平均	3.1	2.8	2.8	3.1	2.9	2.8	3.1	2.5	2.3	2.5	2.8	2.9	年平均 2.8
	瞬間最大	23.3	25.8	10.9	21.9	21.7	17.3	17.3	14.9	16.4	25.0	22.2	20.3	最大/年 25.8
気温	平均	8.3	12.0	12.5	16.2	20.1	23.3	26.9	28.3	26.1	20.2	15.4	10.2	年平均 18.3
	最高	19.5	20.6	23.6	24.1	26.7	30.4	31.7	34.6	33.5	31.3	23.4	20.2	最高/年 34.6
	最低	0.4	2.3	2.9	5.5	12.2	14.4	19.3	21.8	18.4	12.7	0.0	2.0	最低/年 0.0
相対湿度	平均	66.9	70.2	68.2	66.3	69.2	84.0	89.6	79.4	68.9	68.4	70.3	67.9	年平均 72.4
	最高	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	95.3	最高/年 99.9
	最低	26.9	9.9	14.4	16.7	21.7	39.4	54.6	26.4	20.1	22.3	29.1	32.4	最低/年 9.9
実効湿度	平均	65.4	68.9	68.7	66.4	67.9	79.6	89.9	78.5	68.2	69.6	68.8	67.6	年平均 71.6
	最高	80.4	88.6	86.9	82.2	78.4	90.8	96.0	89.9	87.5	92.4	81.5	87.5	最高/年 96.0
	最低	48.3	49.1	50.4	51.2	53.0	64.1	82.5	63.4	53.3	54.5	51.9	54.6	最低/年 48.3
現地気圧	平均	1020.1	1015.9	1016.0	1013.6	1010.3	1005.6	1006.7	1006.5	1009.4	1012.9	1017.8	1017.7	年平均 1012.7
	最高	1029.3	1025.3	1024.9	1024.6	1024.1	1013.5	1013.5	1012.4	1016.6	1022.5	1026.2	1024.6	最高/年 1029.3
	最低	1003.8	1004.3	999.9	997.1	999.6	996.3	997.9	999.0	999.9	990.1	1000.5	1009.0	最低/年 990.1

備考

天候の記録は、午前9時現在の観測である。
降水日数は、降水量が0.5mm以上あった日数である。

2 風向の状況

(H21年中)

月 風向	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
北北東 (NNE)	12.9	14.3	12.9	3.3	12.9	3.3	0.0	3.2	13.3	19.4	16.7	29.0	11.8
北東 (NE)	25.8	35.7	22.6	53.3	38.7	40.0	25.8	61.3	53.3	41.9	26.7	9.7	36.2
東北東 (ENE)	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	3.3	0.0	9.7	10.0	0.0	0.0	3.2	2.7
東 (E)	0.0	3.6	9.7	3.3	3.2	3.3	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	2.2
東南東 (ESE)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
南東 (SE)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
南南東 (SSE)	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
南 (S)	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	16.7	25.8	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1
南南西 (SSW)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
南西 (SW)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.3
西南西 (WSW)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	3.2	9.7	0.0	3.2	0.0	0.0	1.9
西 (W)	3.2	7.1	3.2	10.0	25.8	23.3	12.9	6.5	6.7	0.0	0.0	0.0	8.2
西北西 (WNW)	0.0	3.6	3.2	13.3	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	6.5	3.0
北西 (NW)	9.7	3.6	12.9	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	9.7	13.3	6.5	5.8
北北西 (NNW)	16.1	21.4	9.7	6.7	6.5	0.0	0.0	0.0	6.7	9.7	30.0	22.6	10.8
北 (N)	32.3	7.1	19.4	0.0	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0	12.9	13.3	22.6	9.5

※ 風向頻度 (%) を示す。

3 各地の降水量 (防災テレメーターによる。)

(H21年中)

月 観測所	冠岳	生福	旭	荒川	羽島支所	土川	市来庁舎	消防署
1	82.0	97.0	107.0	114.0	95.0	85.0	32.0	102.5
2	196.0	237.0	265.0	232.0	210.0	220.0	135.5	221.5
3	185.0	229.0	238.0	217.0	194.0	180.0	202.5	205.0
4	91.0	110.0	120.0	119.0	113.0	100.0	101.0	103.5
5	28.0	46.0	50.0	40.0	40.0	48.0	21.0	37.5
6	197.0	319.0	325.0	305.0	250.0	243.0	264.5	194.5
7	56.0	125.0	155.0	150.0	159.0	180.0	95.0	106.5
8	25.0	45.0	30.0	34.0	23.0	32.0	11.0	30.5
9	50.0	71.0	94.0	79.0	71.0	89.0	76.0	70.0
10	56.0	75.0	93.0	70.0	60.0	64.0	79.5	74.5
11	186.0	214.0	216.0	188.0	196.0	152.0	222.5	203.5
12	117.0	131.0	137.0	136.0	120.0	114.0	91.0	98.0
合計	1,269.0	1,699.0	1,830.0	1,684.0	1,531.0	1,507.0	1,331.5	1,447.5

**火事と救急は
119番**

いちき串木野市消防本部

鹿児島県いちき串木野市昭和通 133-1

〒896-8601 電話 0996 (32) 0119

FAX 0996 (32) 4396